総合演習

大学図書館の活用と情報探索　第10回　2018年6月12日

総合演習の目的

- これまでの授業や演習で学習した内容、修得した技術を総動員して、テーマを設定し、発表とレポート執筆を行う。

- 発表→グループ
- レポート→自分の言葉で2000字

第13-14回のグループ発表に向けて

- 「20世紀の重要な問題」に関して、グループでテーマを設定し、先行研究レビューを行ってください。
- 発表は7/3と7/10です。出席できない日がある場合は、担当者にお知らせください。
- 6/12から7/10までの5回は、連続した授業です。
- グループ発表に向け、前半3回はグループワークの時間を多く設けます。
- グループで集まる貴重な機会ですので、できるだけ欠席しないようにしてください。

今後のスケジュール

日時・集合場所	内容
第10回：6/12 (火) @メディアセンター303	①発表方法やレポートの書き方についての講義 ②課題・グループワーク・RefWorksの登録方法の説明 ③グループワークでキーワードマップの作成
第11回：6/19 (火) @メディアセンター303	①引用・参照のルールとポイントに関する講義 ②RefWorksの講義 ③課題の説明 ④グループで発表内容の掘り下げ ⑤各グループの発表予告(各1分)
第12回：6/26 (火) @附属図書館 1F ラーニングコモンズ	①発表資料・最終レポート・アンケートの説明 ②グループで発表準備
第13-14回：7/3・7/10(火) @附属図書館 3F 共同研究室5	グループ発表

これまでの振り返り

大学図書館の魅力と研究活動

- 大学図書館の役割の変化
- 研究と学術資料の今後（オープンアクセス）

資料調査の入り口

- 書誌情報の読み方とKULINEの活用
- レポート執筆の流れ
- 参考資料を活用した資料収集の方法

情報の組織化と検索

- 情報の組織化と分類体系：フォークソノミー、図書館分類など
- インデックスと検索の仕組み

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ検索・DB活用

- ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ検索の際の落とし穴
- 論文データベース・新聞データベースの活用
- 学術情報生産のサイクル・評価の方法

学術情報の性質

学術情報管理の仕組み

情報源・ツール

グループ発表に向けて

グループ発表の内容

1. 「20世紀の重要な問題」からグループで選んだ文献調査のテーマを提示・説明

2. テーマに関係した文献の内容を網羅的に収集し、先行研究における論点を整理

3. 2の内容を踏まえ、考察を行う

発表時間20分　　全員参加

目標！レビュー論文

- 論文には、大きく分けて研究論文とレビュー論文がある
- レビュー論文とは、特定のテーマに関するこれまでの先行研究を整理し、そのテーマに関する課題を提示している論文

一般的なレビュー論文と論文の構造

レビュー論文

1. イントロダクション
   - 研究の背景
   - 問い（著者の問題意識）
2. 研究方法
   - 先行研究を収集する範囲や方法
3. 先行研究整理（レビュー）
   - 独自の視点により先行研究の整理
4. 考察
   - 先行研究で言及されている（されていない）内容の考察
5. 参考文献リスト

論文

1. イントロダクション
   - 研究の背景
   - 問い（著者の問題意識）
2. 研究手法
   - 研究の対象・調査手法
3. 先行研究レビュー
   - 先行研究の整理
   - 先行研究における本論文の位置づけ
4. 結果の結果とその分析
5. 考察・結論
   - この調査で得られた新しい知見とその意義
   - 今後の課題
6. 参考文献リスト

グループワーク１:レビュー論文に慣れる

- 各自が課題で読んできたレビュー論文について、グループで情報共有をし、ワークシートに記入してください。

発表（レポート）テーマの決め方

レポート課題例

- 東南アジアにおける民主化のプロセスについて、1国を選んで論実
- 教育に関するテーマを選び、比較教育学の手法を用いて日本と他国を比較する
- 開発途上国の教育におけるジェンダーギャップについて調べて論じる
- バイオマス・エネルギーに関連し、授業で取り上げていない先進的な事例を選び、論じる

ポイント

- 課題の意図を理解した上で、テーマを設定する
- テーマに関する文献を網羅的に収集し、理解している
- 先行研究を踏まえた上で、自分の考察を述べ、新しい視点や事実を指摘する

この授業の場合

1. 「20世紀の重要な問題」で何を取り上げたいか？
2. その問題について、どのような分野（角度）から検討したいか？
3. どのようなキーワードが考えられるか？
4. 1から３を、一文で表現すると？
5. ４のテーマについて先行研究の有無を調査

グループワーク２：テーマを再検討する

１．事典を引いてみる　（What）

２．４Ｗ１Ｈを考える

- When　年代
- Where　場所
- Who（＋to Whom)
  誰が
  誰にとって
- Why　なぜ
- How　どのように
  どのような

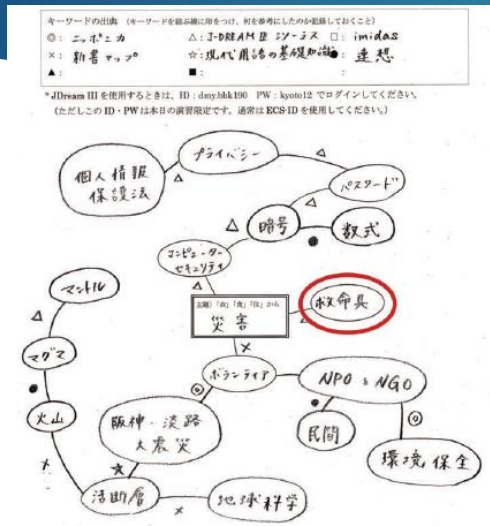
３．アプローチする角度（分野）を考える

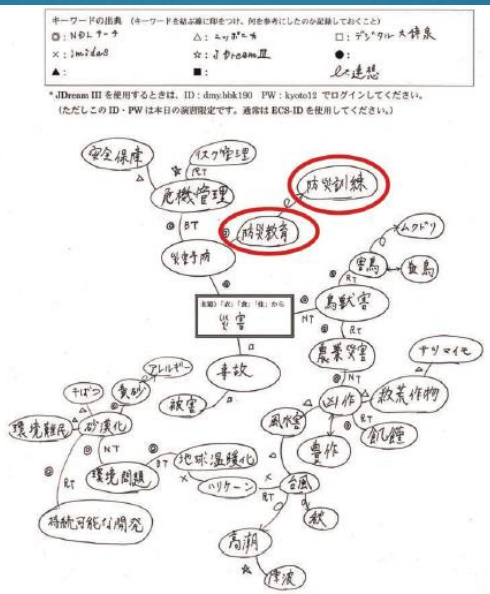
- 社会
- 経済
- 政治
- 技術

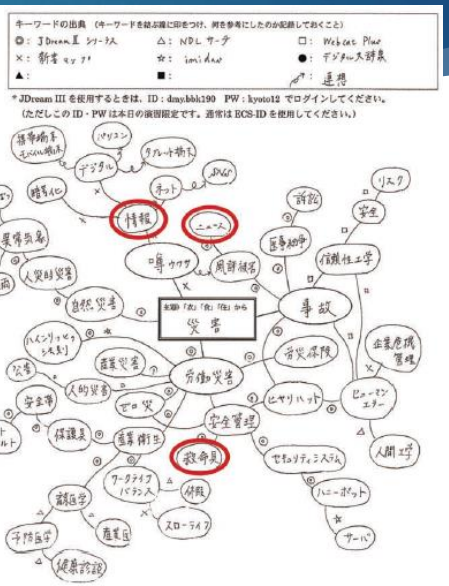
Etc….

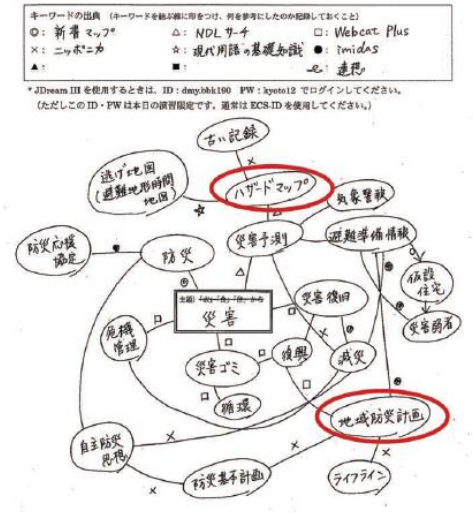
キーワードマップを活用！

キーワードマップの作成・共有









（参考例）

主題：災害

調査テーマ：防災への２つのアプローチ

～救命具の備えとハザードマップの活用～

キーワードマップ作成の際のヒント

1. 基礎知識の確認と関連用語のピックアップ
2. 概念の整理と構造化

基礎知識の確認（百科事典）

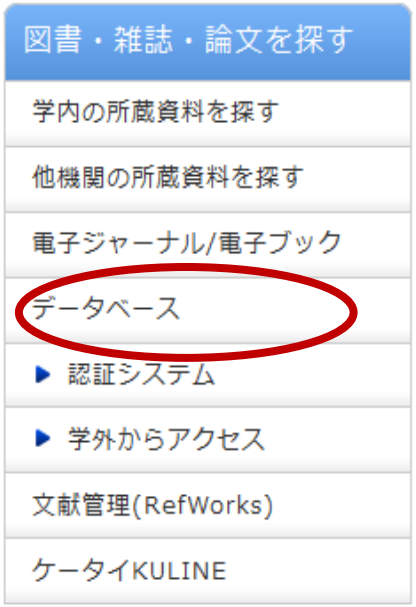
JapanKnowledgeへのアクセス(1)
http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/

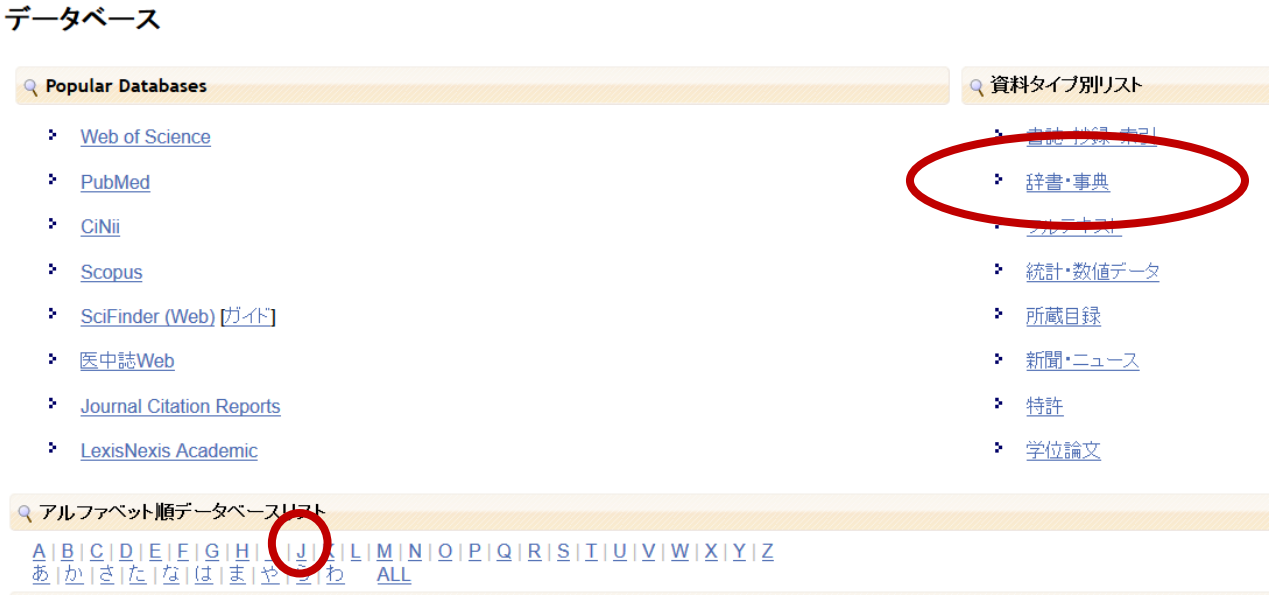
- KULINEの左側メニュー「図書・雑誌・論文を探す」

→データベース

（方法1）「資料のタイプで探す」から「辞書・事典」→ JapanKnowledge Lib

（方法2）Jをクリック　→　JapanKnowledge Lib





JapanKnowledge Lib　トップページ

https://japanknowledge.com/library/

『日本大百科全書』における「大気汚染」の項目より

https://japanknowledge.com/library/

概念の整理と構造化

NDLサーチの活用（1）

http://iss.ndl.go.jp/

簡易検索　詳細検索　障害者向け資料検索

キーワード 大気汚染　検索　翻訳検索しない▼　すべての連携先を検索する

すべて　本　記事・論文　新聞　児童書　レファレンス情報　デジタル資料　その他　立法情報

検索結果の絞り込み

資料種別

本 (9376件)
記事・論文 (12201件)
児童書 (62件)
レファレンス情報 (174件)
デジタル資料 (9935件)
その他 (6件)
障害者向け資料 (2件)
立法情報 (1051件)

データベース

NDL雑誌記事索引 (7861件)
国立国会図書館デジタルコレクション (3921件)
図書 (356件)
国立国会図書館調査及び立法考査局(図書) (1件)
▼全て表示

所蔵館

国立国会図書館 (2180件)
大阪府立中央図書館 (701件)
大阪市立図書館 (631件)
埼玉県立久喜図書館 (485件)
▼全て表示

検索結果一覧

検索結果 23340件中 1から 15件を表示

適合度順　並び替え　表示切替 一覧 書影

1 2 3 4 5 ... 34

雑誌　大気汚染
大気汚染防止工業協会 編　大気汚染防止工業協会 1965
国立国会図書館蔵書

図書　大気汚染学会講演要旨集 第20回(昭和54年)
大気汚染学会 [大気汚染学会] 1979
国立国会図書館蔵書

図書　大気汚染学会講演要旨集 第19回(昭和53年)
大気汚染学会　大気汚染研究協会 1978
国立国会図書館蔵書

図書　大気汚染学会講演要旨集 第25回(昭和59年)
大気汚染学会　大気汚染研究協会 1984
国立国会図書館蔵書

▼関連資料を表示(4件)

雑誌　大気汚染学会誌
大気汚染研究協会　大気汚染研究協会 1978
国立国会図書館蔵書

雑誌　大気汚染学会講演要旨集
大気汚染研究協会 [編]　大気汚染研究協会 1900
国立国会図書館蔵書

図書　大気汚染学会講演要旨集 第32回(平成3年)

関連キーワード

大気汚染

上位語
汚染
公害

下位語
光化学スモッグ
オゾン層破壊

関連語
大気汚染物質
煤煙

▼全て表示

著者名キーワード

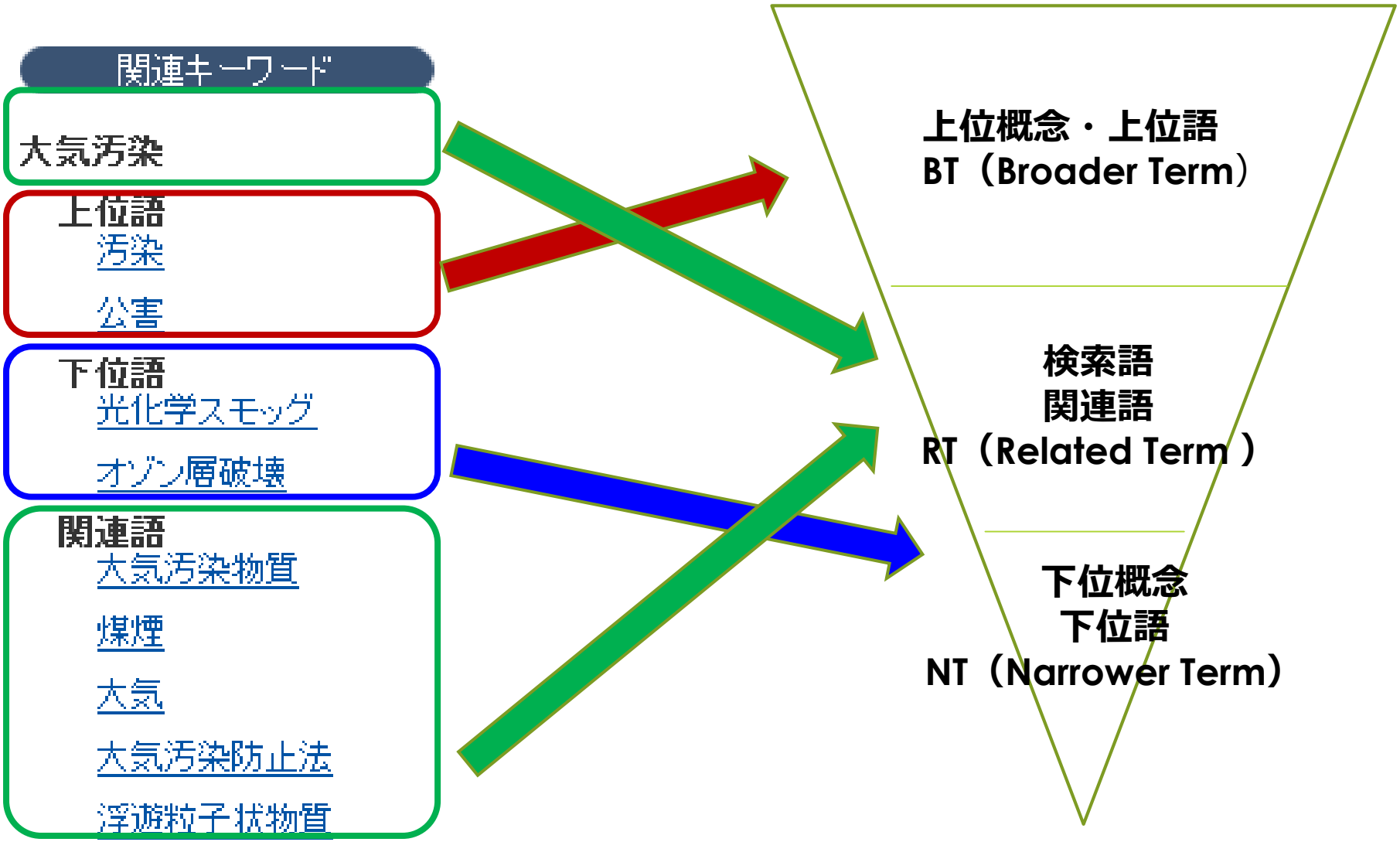
国際協力事業団
環境庁大気保全局
東京都環境局
日本科学技術情報センター
国立環境研究所
日本エヌユーエス株式会社
東京都環境保全局

外部サービスで検索

書籍検索
Google Book
Google Scholar
WebCat Plus

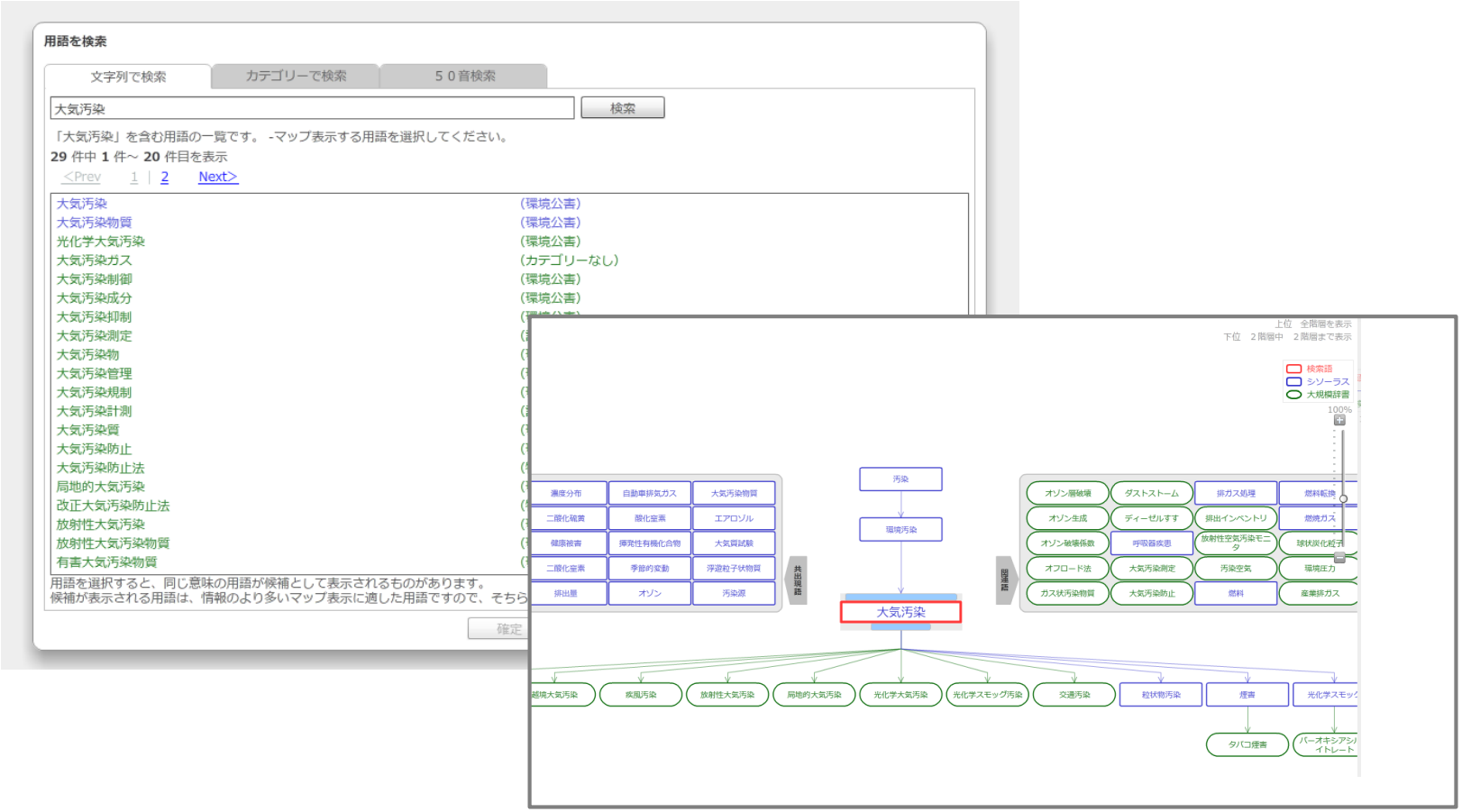
関連キーワードの階層構造

NDLサーチの活用（2）


関連キーワード
大気汚染
上位語
汚染
公害
下位語
光化学スモッグ
オゾン層破壊
関連語
大気汚染物質
煤煙
大気
大気汚染防止法
浮遊粒子状物質
上位概念・上位語
BT（Broader Term）
検索語
関連語
RT（Related Term ）
下位概念
下位語
NT（Narrower Term）

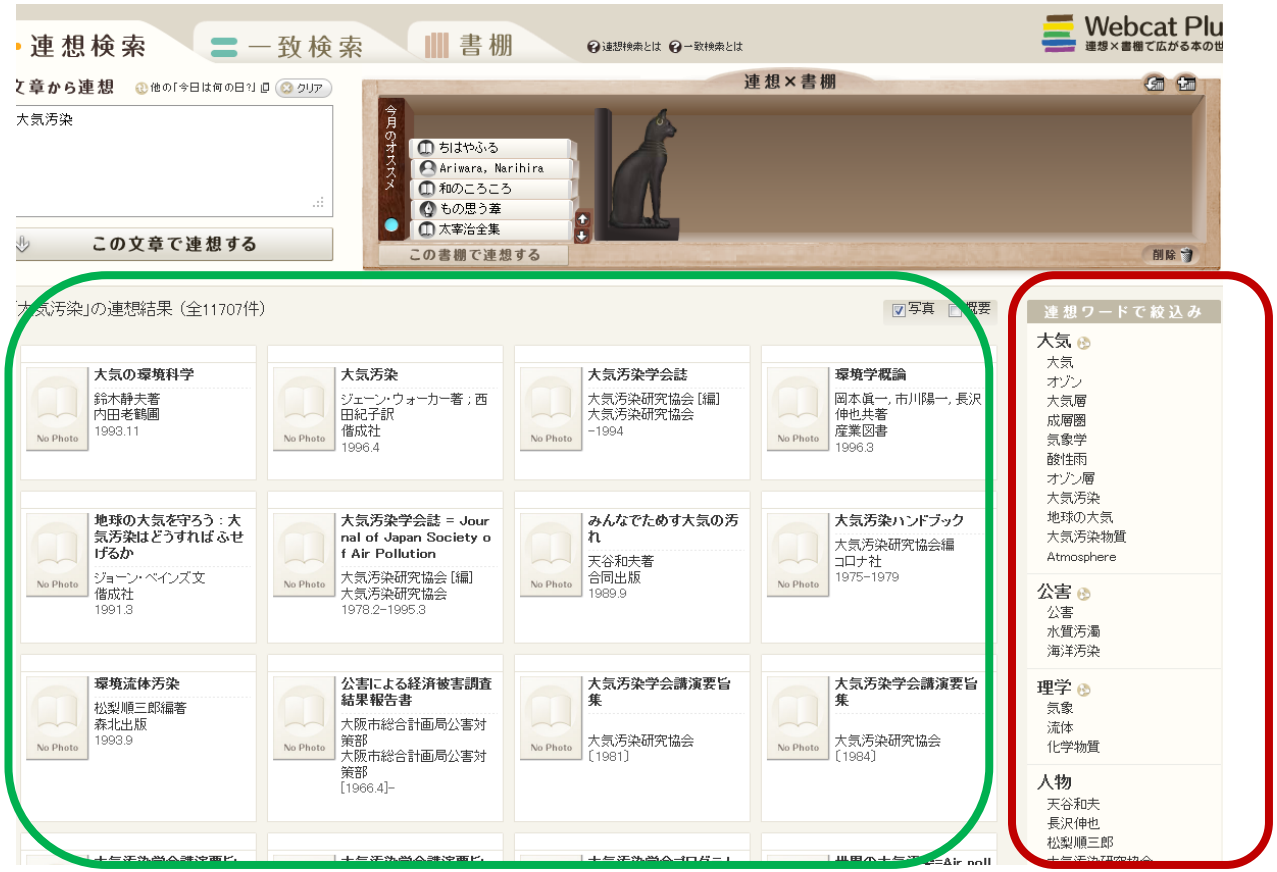
JST シソーラスマップの活用

http://thesaurus-map.jst.go.jp/jisho/fullIF/index.html



Webcat Plus　連想検索の活用　（1）

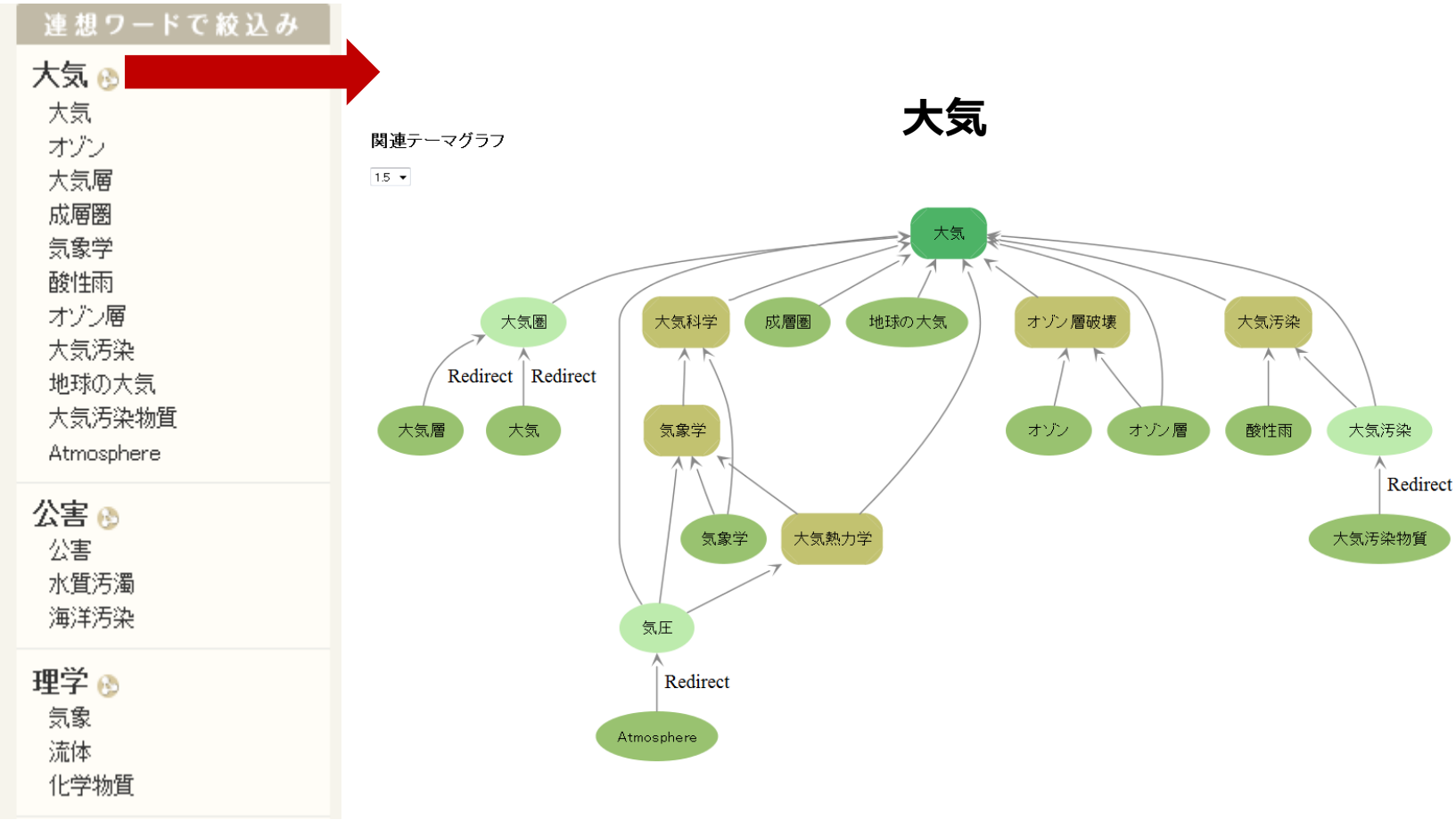
http://webcatplus.nii.ac.jp/



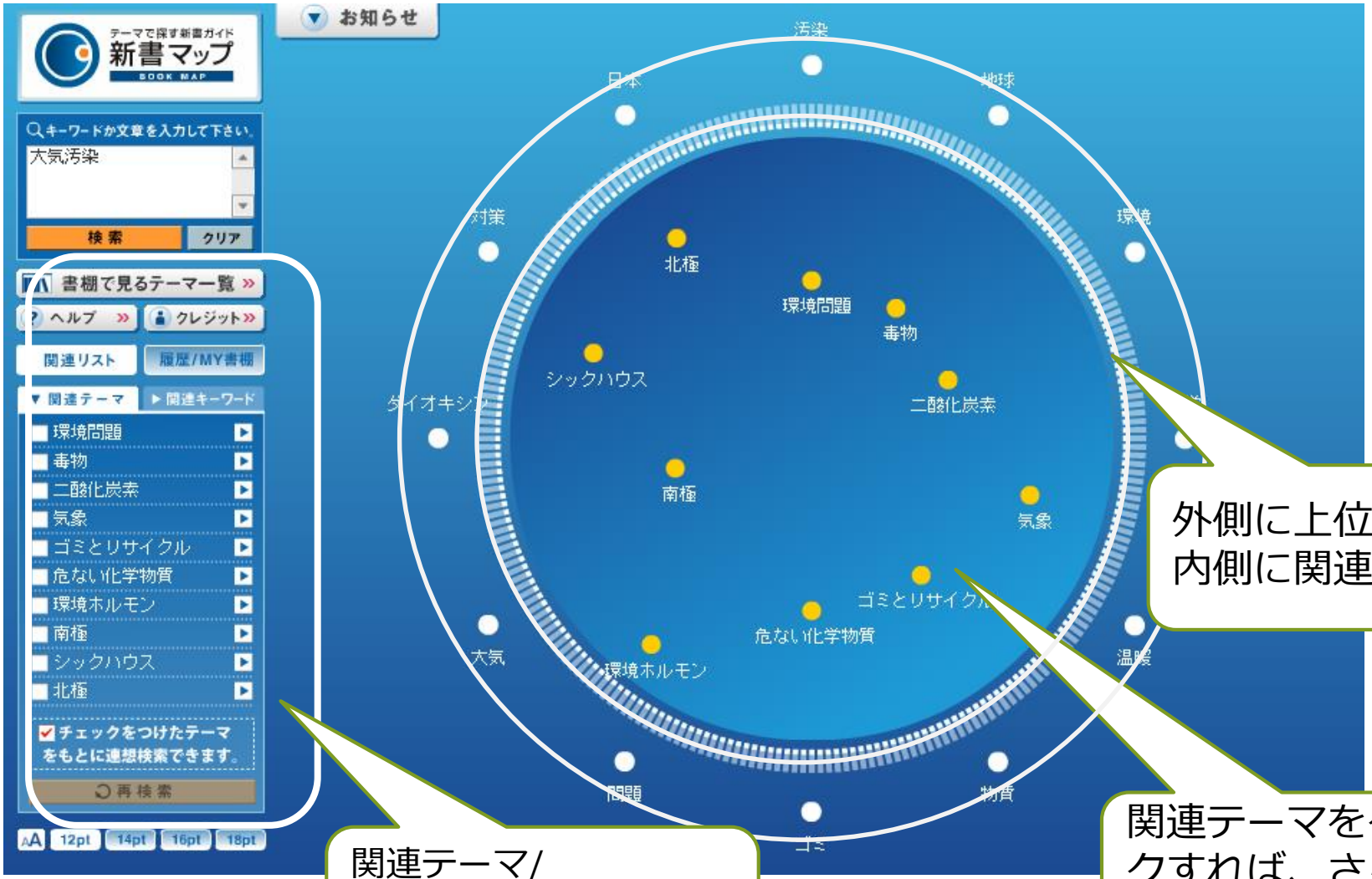
文献情報

関連キーワードの階層化

Webcat Plus　連想検索の活用（2）



新書マップの活用（１）
http://shinshomap.info/search.php



外側に上位概念
内側に関連語

関連テーマ/
キーワードを切り替えて表示、絞り込み

関連テーマをクリックすれば、さらに展開

新書マップの活用（2）

テーマで探す新書ガイド
新書マップ BOOK MAP
>> 新書マップ検索画面へ戻る

web magazine [風 KAZE]

13. テクノロジー

テーマ Theme
危ない化学物質

古くはPCBから、ダイオキシン、環境ホルモン、室内危険物質まで、身のまわりに存在する危ない化学物質について解説する。

新書リスト | 背表紙左から

>> 読書ガイドへ

- **検証!くらしの中の化学物質汚染**
  河野修一郎著 -- 講談社 , 2001 , 221p. -- (講談社現代新書 ; 1558)
  Also in シックハウス
- **危ない化学物質の避け方：アレルギー・ホルモン撹乱・がんを防ぐ**
  渡辺雄二著 -- ベストセラーズ , 2000 , 311p. -- (ワニのNEW新書 ; 027)
  Also in がん予防 シックハウス
- **ゴミと化学物質**
  酒井伸一著 -- 岩波書店 , 1998 , x, 233, 3p. -- (岩波新書 ; 新赤版 562)
  Also in 産業廃棄物 環境ホルモン ゴミとリサイクル
- **室内化学汚染：シックハウスの常識と対策**
  田辺新一著 -- 講談社 , 1998 , 188p. -- (講談社現代新書 ; 1412)
  Also in シックハウス
- **化学物質は警告する：「悪魔の水」から環境ホルモンまで**
  常石敬一著 -- 洋泉社 , 2000 , 221p. -- (新書y ; 015)
  Also in 毒物 環境ホルモン

想 IMAGINE

新書マップ・テーマ

- **危ない化学物質**
  古くはPCBから、ダイオキシン、環境ホルモン、室内危険物質まで、身のまわりに存在する危ない化学物質について解説する。
- **シックハウス**
  近年、社会問題化したシックハウス症候群について、その実態と症状、歴史的背景と原因、原因物質、防止法などを解説。
- **環境ホルモン**
  胎児や脳への影響などが心配される環境ホルモン。体内での作用や対処法、今後の問題について考える。
- **毒物**
  毒物の魅力とは何か、事件、事故、戦争などからみた毒社会の恐怖、ダイオキシンの毒、化学物質(環境ホルモン)の毒など。
- **食の安全**
  狂牛病、鳥インフルエンザ、遺伝子組換え食品。いたずらにパニックを起こさないために、消費者に必要とされる知識は何か。食品の安全はどうすれば守れるのかを考える。
- **産業廃棄物**
  古くて新しい産業廃棄物問題は文明社会にとって環境問題の永遠のテーマである。その実態のルポ、産廃との闘い、ゴミから発生する有害化学物質の影響

グループ課題ですが・・・

- 調べものとプレゼン成功の最大のこつは、自分たちが面白いと思えるテーマを選び、それをいかに伝えるか、智恵をしぼりあうこと。

Enjoy!

下図の通り、班に分かれて着席してください！

- **授業がはじまるまでに**

1.パソコンを起動してください
2.PandAまたは授業ページを開けておいてください
京都大学図書館機構 >学習/研究サポート
>「大学図書館の活用と情報探索」

グループワーク・課題について

大学図書館の活用と
情報探索
第10回
2018/6/12 (火)

下図の通り、班に分かれて着席してください！

● グループワークの流れ

1. キーワードマップの中央のキーワードを決める
2. キーワードマップを作成する
3. キーワードが入った発表テーマ案を考える
4. 授業終了時にキーワードマップを提出する

発表テーマ（6/5時点）

1班. バブル経済

2班. 宇宙開発

3班. ナチズム

4班. 家族構成の変化

5班. ナチズム

6班. 長時間労働（バブル期）

発表テーマの設定

◆テーマは漠然としすぎないように注意する

×食の安全について

○遺伝子組み換え食品の安全評価と選択（過去の例）

◆アプローチする分野や研究対象を具体的にする

（過去の例）

アメリカ優生学の歴史から現代の生殖医療の在り方を問う

学力格差ー現状と日本や海外での取り組みについてー

グループワークの手順

1. 事典を引いてみる（グループワーク）
2. 4W1Hを考える（グループワーク）
3. アプローチする角度を考える

（個人ワーク、課題）→（グループワーク）

・まず個人で1および2で整理したことからキーワードマップを作成する

・グループ内でキーワードマップを共有し、グループとしてのテーマを決める

※授業終了後に、終了時点でのキーワードマップとテーマメモを提出してください

本日の課題について

【課題1】

下記のツールや自分の連想を利用して、キーワードマップを作成しなさい。中央の四角には、グループで決めたテーマに関連するキーワードを記入しなさい。キーワードマップは授業終了時に回収します。

- ☐ NDLサーチ
- ☐ JST シソーラス（マップ） * ブラウザはIEを利用すること
- ☐ 新書マップ * ブラウザはIEを利用すること
- ☐ JapanKnowledge Lib*

  *同時アクセス数制限あり

  ただし6/12のみ同時アクセス25
- ☐ Webcat Plus

すべて、PandA もしくは授業ページにリンクがあります。
京都大学図書館機構 > 学習/研究サポート > 「大学図書館の活用と情報探索」> (10-14回)総合演習 > 講義

キーワードマップとテーマ例

テーマ：遺伝子組み換え食品の安全評価と選択

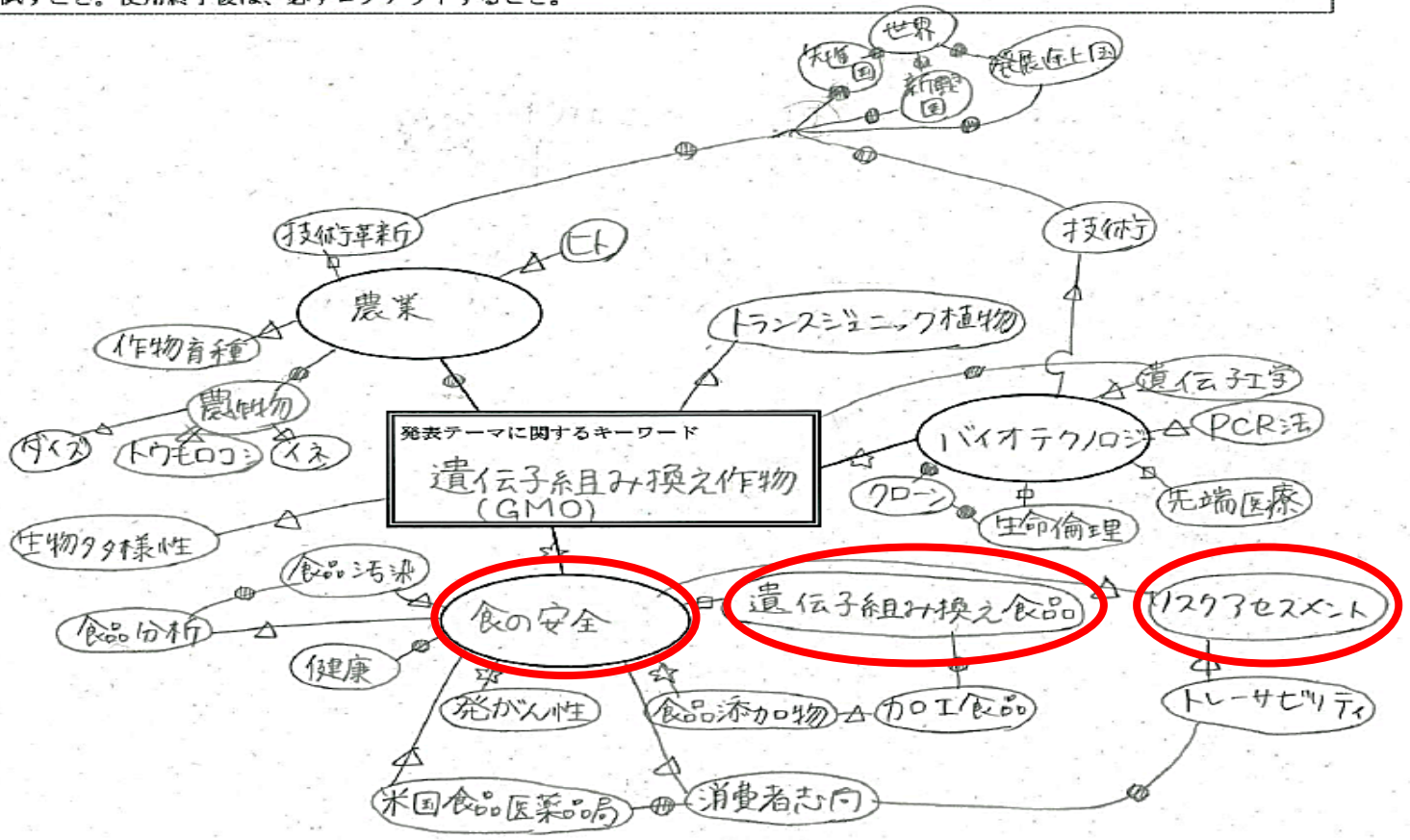
キーワードの出典　（キーワードを結ぶ線に印をつけ、何を参考にしたのか記録しておくこと）

◎：NDL サーチ　△：JST シソーラス（マップ）　□：新書マップ

×：JapanKnowledge Lib*　☆：Webcat Plus　●：自分の連想

▲：　■：　★：

* JapanKnowledge Lib は同時アクセス数制限あり。ログインできない場合は、しばらく時間をおいてから再度ログインを試すこと。使用終了後は、必ずログアウトすること。



本日の課題について

【課題2】

発表テーマに関連する図書をKULINEで検索し、最も重要と思われる図書を1冊借りて、調査に必要な箇所を読みなさい。

【課題3】

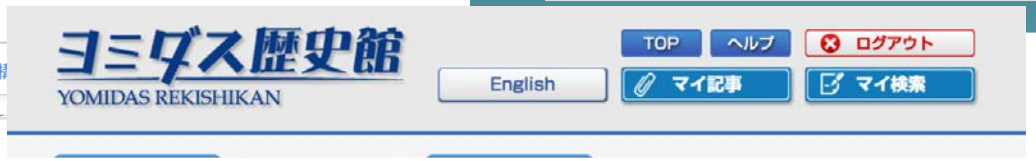
発表テーマに関連する論文2点を論文データベースCiNii Articlesで検索し、通読しなさい。

【課題4】

発表テーマに関連する新聞記事1点を新聞データベース*から探して、通読しなさい。*同時アクセス数制限あり

グループで情報共有するため、借りた図書1冊、論文2点、新聞記事1点の内容を次回授業[6/19（火）]に持参しなさい。

https://ci.nii.ac.jp/



https://database.yomiuri.co.jp/about/rekishikan/

すべて PandA・授業ページに
リンクがあります

https://database.asahi.com/index.shtml

http://mainichi.jp/contents/edu/maisaku/login.html

RefWorksの登録方法について

文献管理ツールRefWorksの登録方法

アカウントの作成

来週までに各自行うこと！

1. 京都大学図書館機構サイトやKULINE等からアクセス

2. **「その他の資格情報を使用してログインする」**＞「自分の機関の資格情報(Shibboleth)」から「**Kyoto University**」を選択

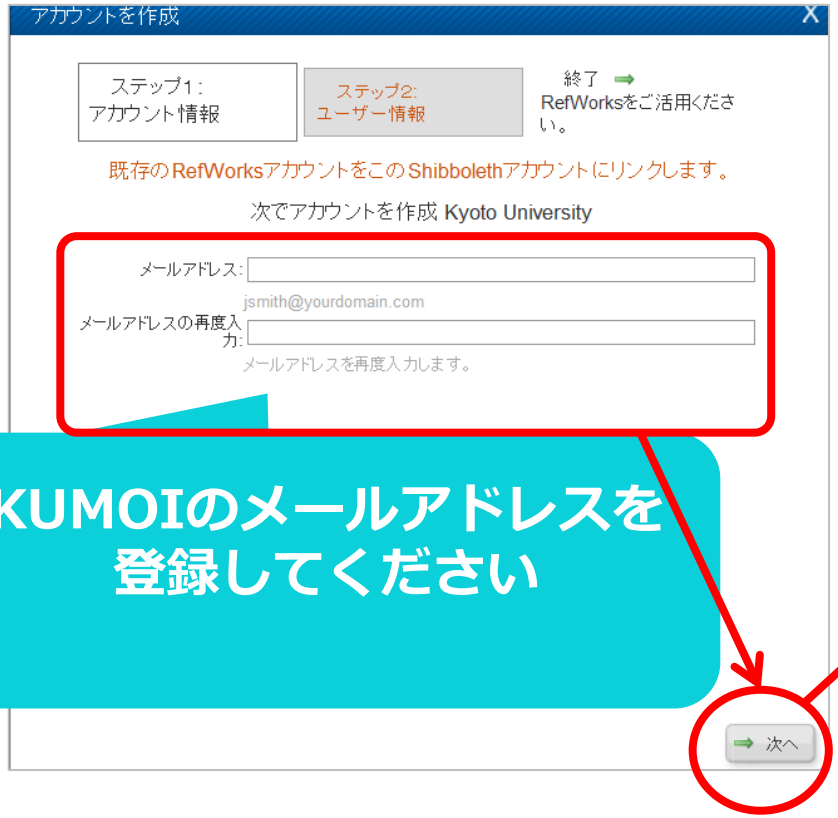
3. **ECS-IDとパスワード**を入力して「ログイン」をクリック

文献管理ツールRefWorksの登録方法

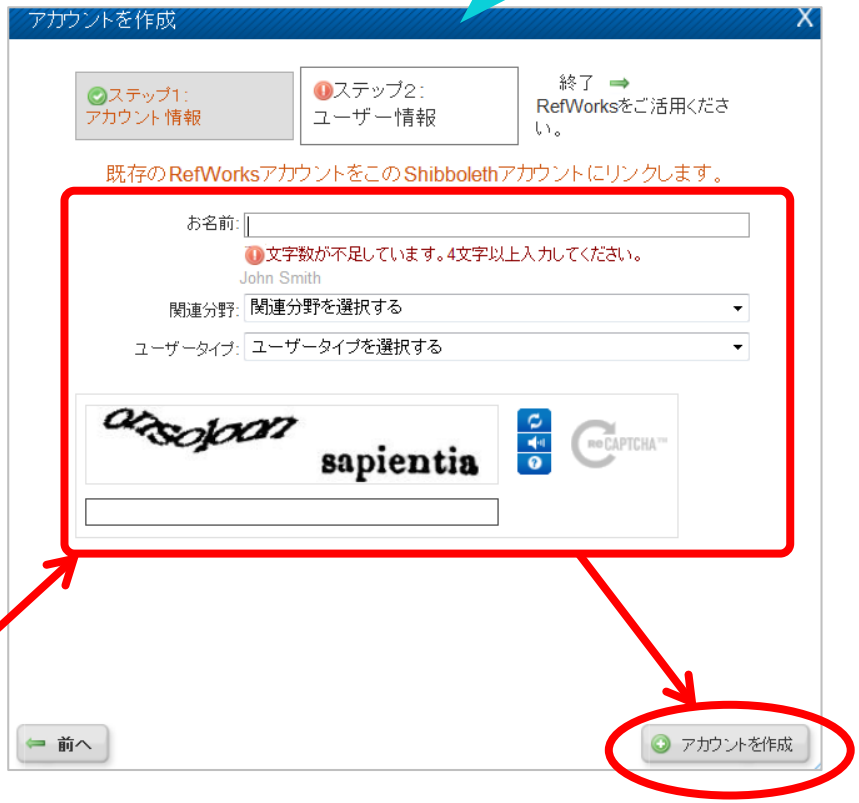
アカウントの作成

お名前：
お名前をご記入下さい
関連分野：
ご所属の学部等を選択
ユーザータイプ：
「学部生」等を選択

4. メールアドレスを入力し、「次へ」をクリック
5. お名前等を入力し、「アカウント作成」をクリック



KUMOIのメールアドレスを登録してください



次回授業

- 日時：2018/6/19（火）4限
- 場所：メディアセンター303
- 内容：引用・参照のルールとポイント、
  RefWorksに関する講義+グループワーク
  +発表内容1分間予告
- 持ち物：課題の図書、論文、新聞
- 事前準備：RefWorksのアカウント作成

第11回予習

下記のURLページ「著作権って何？（はじめての著作権講座）」のうちの以下の5項目を一読し、

PandAの「テスト・クイズ」にある「著作権クイズ」を提出してください。

「著作権って何？（はじめての著作権講座）」
（http://www.cric.or.jp/qa/hajime/index.html ）

①著作権は身近なルール

②著作物にはどんな種類がある？

③著作者にはどんな権利がある？

④著作権の保護期間はどれだけ？

⑤著作物が自由に使える場合は？

総合演習

大学図書館の活用と情報探索　第11回　2018年6月19日

本講義の内容

- 課題（著作権クイズ）について
- 引用・参照の定義とルール
- 発表のポイント

引用と参照

引用と参照

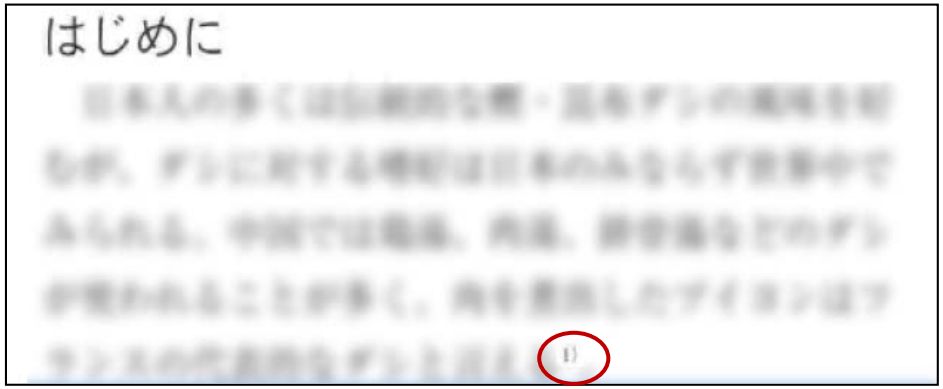
- 共通点：持論を展開するために、先行研究をはじめとする文献を用いること。引用・参照した文献は文中と、文末のリストに明記。
- 引用：他者の意見や文章を、そのまま書き写す。「」や段を下げることで、自分の文章でないことを示す。
- 参照：他者の意見や文章を要約した上で、自論を展開する。複数の参照元を一文にまとめてもよい。

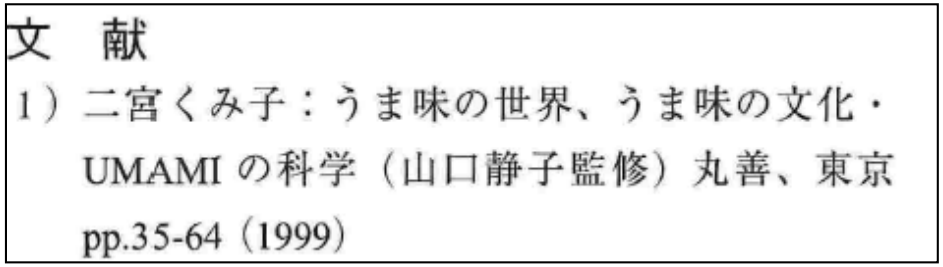
「引用」「参照」のルールやポイント

- 指定されたフォーマットで引用・参照し、および参考文献リストを作成する　（今回はハーバード方式＋SIST）
- 「自分の文章」が主で「引用部分」が従であることがはっきりわかるように書かれている
- 引用部分の明確化、被引用文献（出典）の明示
  - ✓ 「　　」や　“　”　でくくる
  - ✓ 長い文章の引用は「段下げ」（インデント）

「引用」「参照」の例：バンクーバー方式

- 本文中で参照した部分を、文献リストや註（脚注・文末註）で明示
- 文献リストは引用順


はじめに


文　献

1）二宮くみ子：うま味の世界、うま味の文化・UMAMI の科学（山口静子監修）丸善、東京 pp.35-64（1999）

出典：伏木亨.うま味とにおいのインターラクション：鰹ダシのおいしさを例に．日本味と匂学会誌．2009, vol.16, no. 2, p.185-188.

「引用」「参照」の例：ハーバード方式

さて、市民社会形成に関わる新中間層以外の担い手を構想する議論もある。オルターナティブな発展論が現地の知識人や宗教者、NGO 関係者から出され、先進国の研究者も共感を示した（西川編,2001; 西川・野田編,2001;駒井,2001）。社会開発論は国際援助機関から

参考文献

西井涼子,2001,『死をめぐる実践宗教』世界思想社。

西川潤編,2001,『アジアの内発的発展』藤原書店。

西川潤・野田真理編,2001,『仏教・開発・NGO―タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』新評論。

日本村落社会学会編,2004,『東アジア農村の兼業化―その持続性への展望』農文協。

- 本文中に、著者と出版年を明示。
- 文献リストは、五十音順

出典： 櫻井義秀. 分野別研究動向（東南アジア）グローバリゼーションと地域社会変動. 社会学評論. 2008, vol. 57, no. 1, p. 204-217.

図・表の引用方法

（１）現在のＡＳＥＡＮ（2014年）

加盟国（10カ国：ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）			
面積	433万km²	日本（36万km²）の12倍	世界（１億2,974万km²）の3.3%
人口	6億2,329万人	日本（1億2,713万人）の4.9倍	世界（72億6,065万人）の8.6%
ＧＤＰ	2兆4,780億米ドル	日本（4兆6,015億米ドル）の53.9%	世界（77兆8,688億米ドル）の3.2%
１人当たりＧＤＰ	3,976米ドル	日本（36,194米ドル）の11.0%	世界平均（10,725米ドル）の37.1%
貿易（輸出＋輸入）	2兆5,518億米ドル	日本（1兆5,024億米ドル）の1.7倍	世界（36兆6,819億米ドル）の7.0%

（出所）面積、人口、ＧＤＰ：World Bank, World Development Indicators database
貿易：IMF, Direction of Trade Statistics
（注）　１人当たりＧＤＰは、名目ＧＤＰを人口で除して当課で試算

出典と加工方法を明記

出典:”目で見るASEAN－ASEAN経済統計基礎資料－“外務省アジア大洋州局地域政策課. http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asean/,(accessed:2016-06-07)

「引用」「参照」の意味

- 自分の意見や発想の根拠を明示する
  - 先人達による学問の積み重ねの中に、何を付け加えたかを明らかにすることで、自分の発見の位置づけを明らかにする
  - 今までの見解に反論する場合でも、「反論対象」の根拠を明示する
- 自分の意見と他人の意見とを区別する
  - 「盗作」と見なされる恐れがある⇒「著作権」侵害
- 研究方法についても、引用・参照が求められる場合がある

発表のポイント

発表のポイント１

1. 関連資料を十分に網羅し、読み込んでいるか？
2. 関連資料のポイントを的確にとらえているか、他の人に分かりやすく伝えられているか
3. 各グループならではの着眼点で、先行研究を考察できているか

発表のポイント２

1. 分かりやすい資料の作成
   - フォント：20PT以上　24PT　16PT
   - 図の利用
   - 目次の挿入

2. 魅力的なプレゼン
   - 導入
   - アイコンタクト
   - 声の大きさ

発表のポイント３

1. 引用と文献リストの書式をきちっとおさえる

⇒引用：文末註

参考文献リスト：SIST_02 形式

☆科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方

http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm

の「5.　資料種類別の記述例 」を参照する

☆著者名の五十音順に作成、ウェブサイトは別項にまとめる

下図の通り、班に分かれて着席してください！

● 授業がはじまるまでに

1. パソコンを起動してください
2. Refworksのアカウント登録が済んでいない方は、補助者にお申し出ください

RefWorksの使い方

大学図書館の活用と
情報探索
第11回
2018/6/19 (火)

参考文献リスト

- **論文・レポート等には、一定の記述方法で引用/参考文献を掲載**

以下の例だと【論文】の記述方法は、

「著者：論文タイトル, 掲載雑誌名, 巻号, 掲載ページ (発行年)」

文　　献

1)　千葉県農業化学検査所：堆きゅう肥の炭素含量と強熱減量の関係，平成 6 年度試験成績書，p. 50（1995）

2)　藤原俊六郎：おが屑混合鶏ふん堆積物の腐熟度と施用方法について，神奈川園試報，**36**，1～100（1988）

3)　原田靖生：家畜排泄物および処理物の特性，畜産の研究，**44**，128～134（1990）

4)　磯部　等・関本　均：栃木県における豚用飼料，豚ぷんおよび豚ぷん堆肥の重金属含有量の実態，土肥誌，**70**，39～44（1999）

参考文献リストの例(1)

著者名の五十音・アルファベット順にリスト化

参考文献

天野郁夫『大学―試練の時代』（東京大学出版会、1988）。

苅谷剛彦『アメリカの大学・ニッポンの大学』（中央公論社、2012）。

竹内洋『日本人の出世観』（学文社、1978）。

中谷巌『転換する日本企業』（講談社、1987）。

Andrew, Johnson, D.W. *Strengthen in the Teaching Assistant Faculty*, (Jossey-Bass Inc. Publishers, San Francisco, CA, 1985.

Chase, John L. *Graduate Teaching Assistants in American Universities: A Review of recent Trends and Recommendation*, (US Department of Health, Education and Welfare, 1970.)

Jencks,C. and Riesman, D., The Academic Revolution, (A Doubleday Anchor Book, 1968).

Richard Arum & Josipa Roksa, *Academically Adrift —— Limited Learning on College Campuses* (Chicago: The University of Chicago Press, 2011).

出典：　眞砂 薫. 大学教育における学力低下の背景：日米比較.
近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編, 3(2), 109-124, 2013.

参考文献リストの例(2)

本文

少ない近畿，瀬戸内地域には全国のため池の69%が存在している．これらため池の築造年数は，「不明・江戸時代以前」が77%と多く，老朽化が進んでいる[1]．また，築造年

そこで本研究では，微生物の代謝活動を利用したグラウトであるバイオグラウト[2]に着目した．グラウトとは地盤の割れ目や空隙を塞ぎ，強度増加や止水の役割をし，

引用文献番号

本文中に出てきた順番にリスト化

引用・参考文献

引　用　文　献

1) 中国四国農政局(2006)：ため池の役割と整備　中国四国地域のため池について，http://www.chushi.maff.go.jp/kyoku/nnjigyou/tameike/genjyou.htm，2006.12.4.

2) 川崎了・村尾彰了・広吉直樹・恒川昌美・金子勝比古(2006)：微生物代謝により固化する新しいグラウトに関する基礎的研究，応用地質，Vol.47，No.1，pp.2-12.

出典：　清田 佳奈, 村上 章, 川崎 了.農業用ため池底泥のバイオ固化処理に関する基礎的研究. 応用地質 50(2), 70-78, 2009 .

文献管理ツールとは

- 論文執筆等に必要な文献の情報を蓄積・管理

日頃の文献収集で！

- 参考文献リストを簡単に作成

レポート執筆時に！
手入力よりも早く正確に！

RefWorksは…

- ウェブ上で使える文献管理ツール
- 他の研究者/学生との情報共有や公開も可能

RefWorks活用の 3 Steps

Step ❶ 取り込み
- KULINE
- CiNii

Step ❷ 整理
- フォルダの整理
- レコードの編集

Step ❸ 出力
- 参考文献リスト

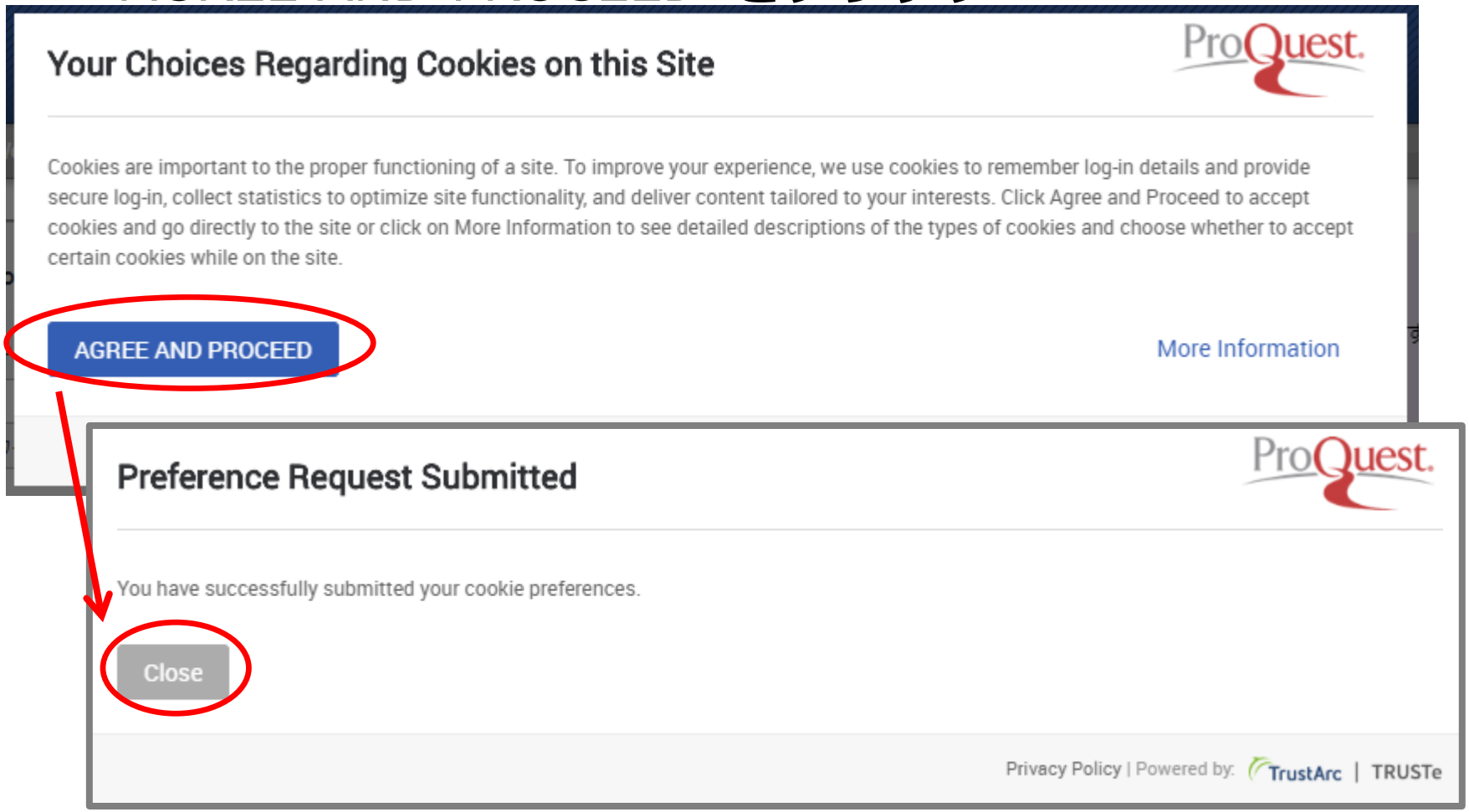
+共有

RefWorks へログイン (1)

1. KULINEから文献管理(RefWorks)をクリック

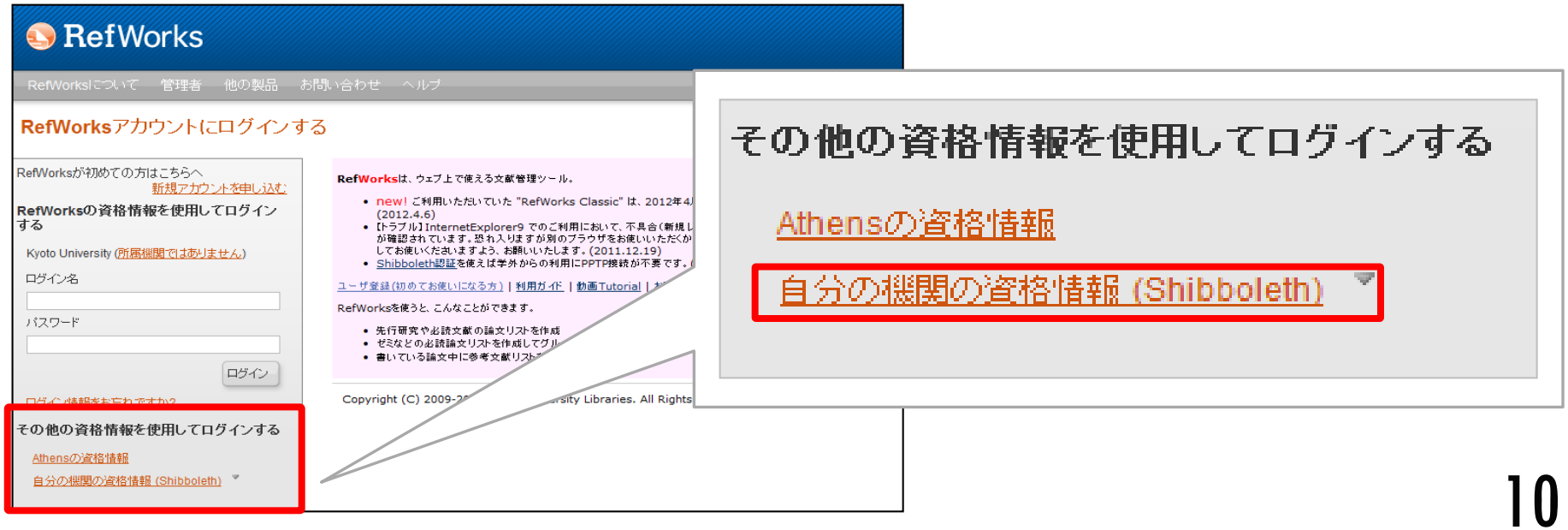
RefWorks へログイン (2)

2.クッキーについての確認画面が表示されるので、
“AGREE AND PROCEED”をクリック



RefWorksへログイン (3)

3. 「自分の機関の資格情報(Shibboleth)」から「Kyoto University」を選択
4. ECS-IDとパスワードを入力してログイン



RefWorksへログイン (4)

5.プライバシーポリシーに関する確認画面が表示されるので、「はい。同意します」をクリック

1. RefWorksにインポート

KULINEからインポート(1)
-複数のレコードをまとめて-

検索結果一覧画面でインポートしたい資料に☑をつけ

「文献管理」ボタンをクリックしRefWorksを選択

複数のレコードをまとめて取り込むことができる

課題 5

KULINEからインポート(2)
-レコードを1件ずつ-

書誌詳細画面で「文献管理」をクリックしRefWorksを選択

書誌詳細　3件目を表示（全3件）　印刷

▲検索結果一覧へ戻る

書影:
杉原 薫・脇村 孝平・藤田 幸一・田辺 明生編. 2012. 講座 生存基盤論 1 歴史のなかの熱帯生存圏 温帯パラダイムを超えて. 京都大学学術出版会. 550p.

図書

歴史のなかの熱帯生存圏：温帯パラダイムを超えて

杉原薫［ほか］編. -- 京都大学学術出版会, 2012. -- (講座生存基盤論 ; 第1巻).
<BB04143203>

総合評価：

登録タグ：　登録されているタグはありません

便利機能：　ブックマーク　出力　メール　文献管理

▶目次・あらすじを見る　▶レビューを見る　▶詳細情報を見る

書誌URL：　http://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB04143203　選択

所蔵一覧　1件～10件（全10件）

10件

No.	巻号	所蔵館	配置場所	請求記号	資料ID	状態	返却予定日	予約
0001		附図	B1M 書庫	EG||281||レ4	200025393975			
0002		吉田南	1F 和書	519||K||176||1	200021605487			
0003		宇治	宇治分館	519||SUG	200020004593			
0004		東南ア	本館2F西	III 870||07 6.1||Su	200023520722			
			書庫3F 和					

CiNii Articlesからインポート (1)
-複数のレコードをまとめて-

1. インポートしたい資料を☑
2. 「RefWorksに書き出し」
3. 「実行」をクリック

複数のレコードをまとめて取り込むことができる

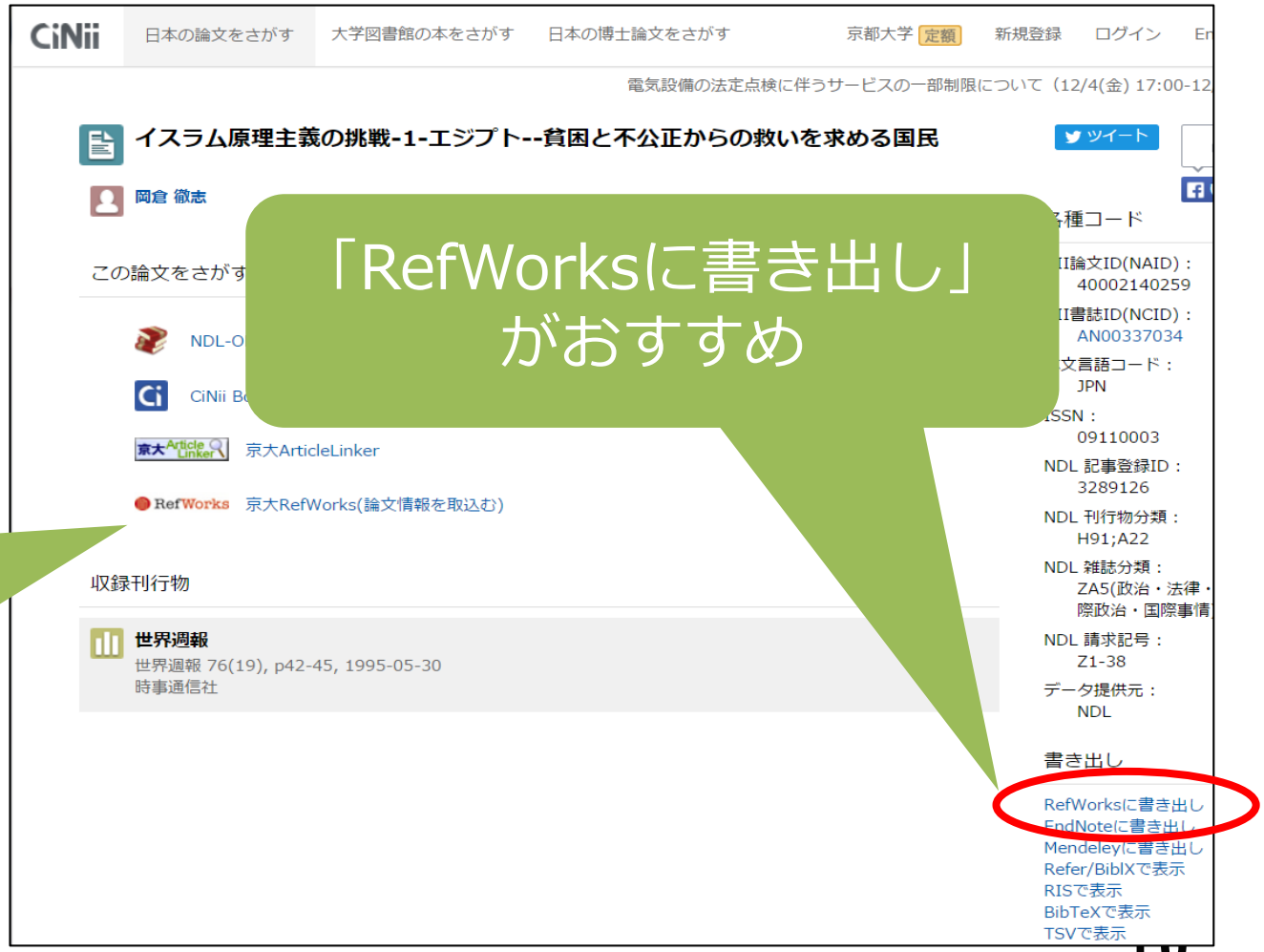
CiNii Articlesからインポート (2)
-レコードを1件ずつ-

https://ci.nii.ac.jp

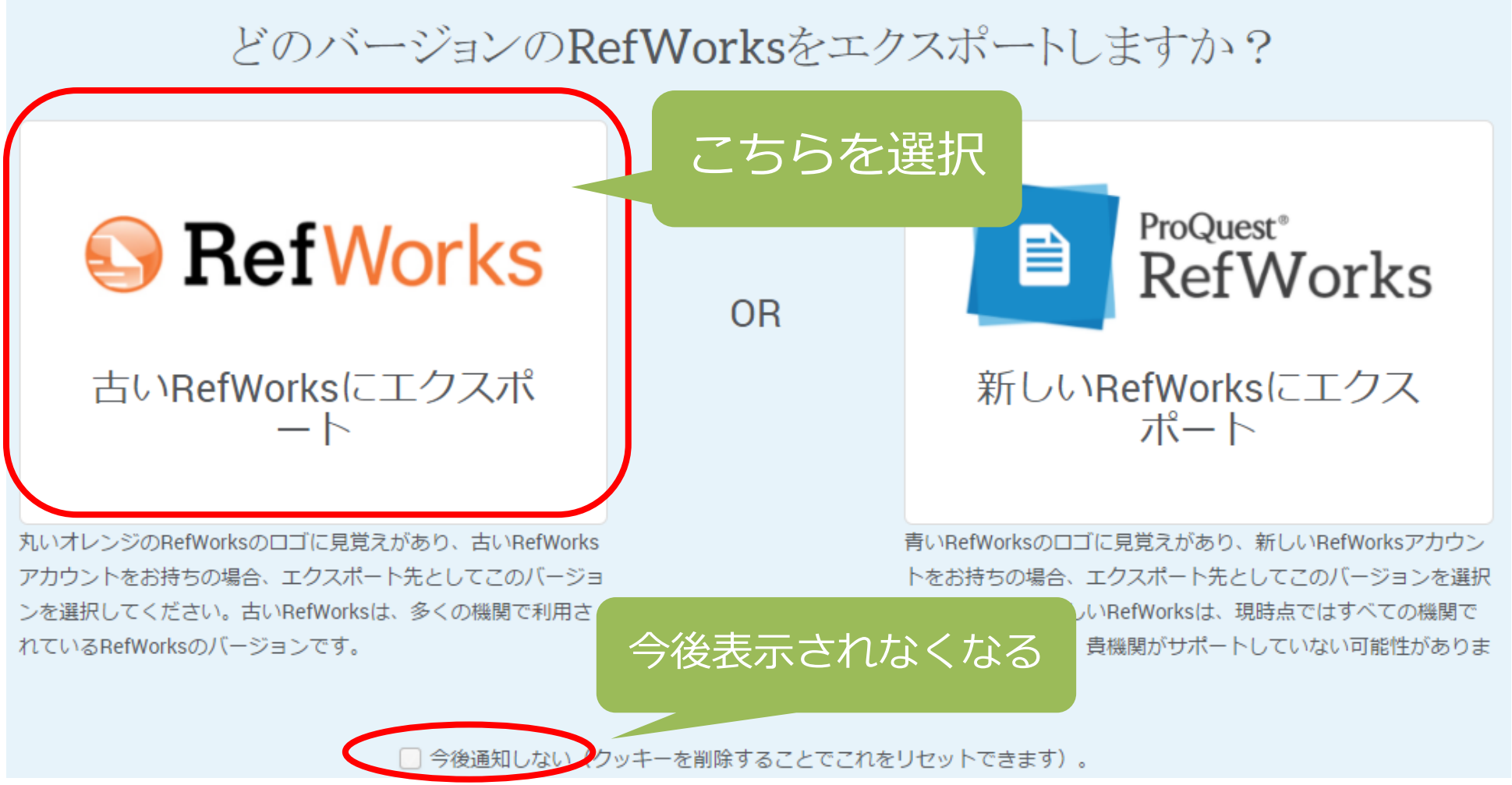
詳細ページから
RefWorksに書き出し

京大RefWorksでは共著者の情報が取り込まれない

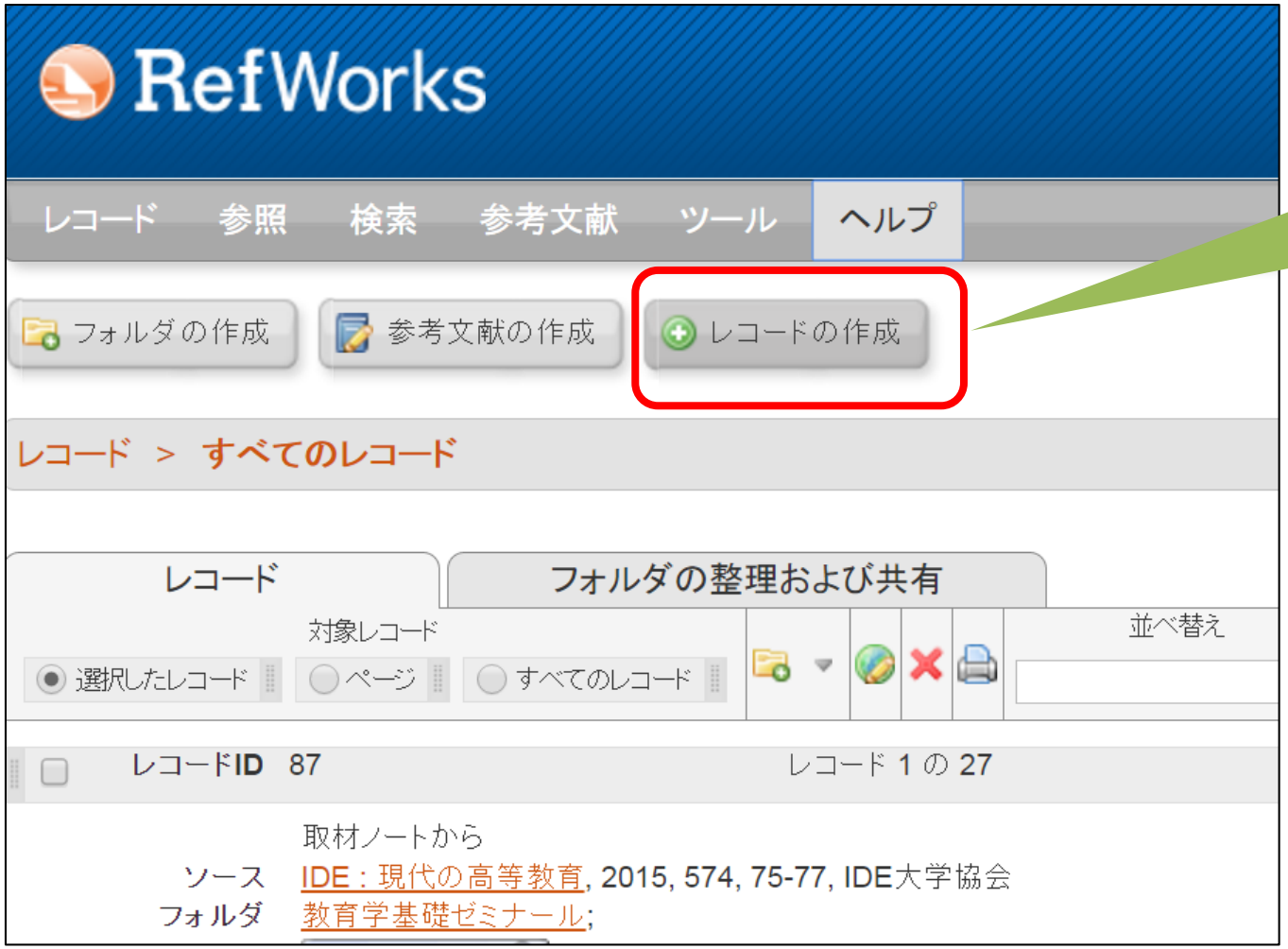
「RefWorksに書き出し」がおすすめ



注意点

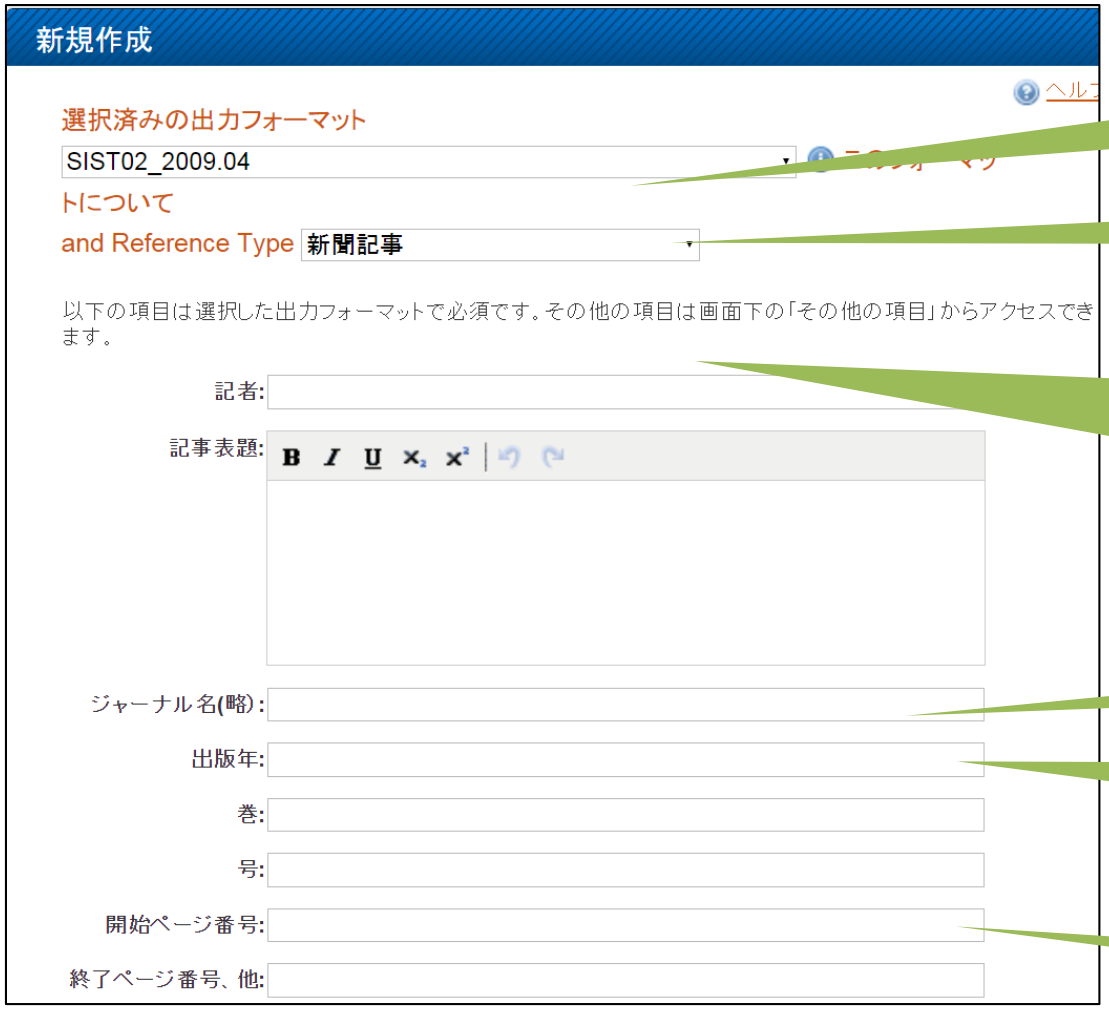

どのバージョンのRefWorksをエクスポートしますか？
こちらを選択
RefWorks
古いRefWorksにエクスポート
OR
ProQuest
RefWorks
新しいRefWorksにエクスポート
丸いオレンジのRefWorksのロゴに見覚えがあり、古いRefWorks
アカウントをお持ちの場合、エクスポート先としてこのバージョ
ンを選択してください。古いRefWorksは、多くの機関で利用さ
れているRefWorksのバージョンです。
青いRefWorksのロゴに見覚えがあり、新しいRefWorksアカウン
トをお持ちの場合、エクスポート先としてこのバージョンを選択
しいRefWorksは、現時点ではすべての機関で
貴機関がサポートしていない可能性がありま
今後表示されなくなる
今後通知しない（クッキーを削除することでこれをリセットできます）。

RefWorksにデータを作成する(1)



「レコードの作成」クリック

RefWorksにデータを作成する(2)



SIST02_2009.04 を選択

新聞記事 を選択

「姓, (半角スペース)名」の形で記者名を入力

新聞名を入力

年月日、朝刊/夕刊 を入力

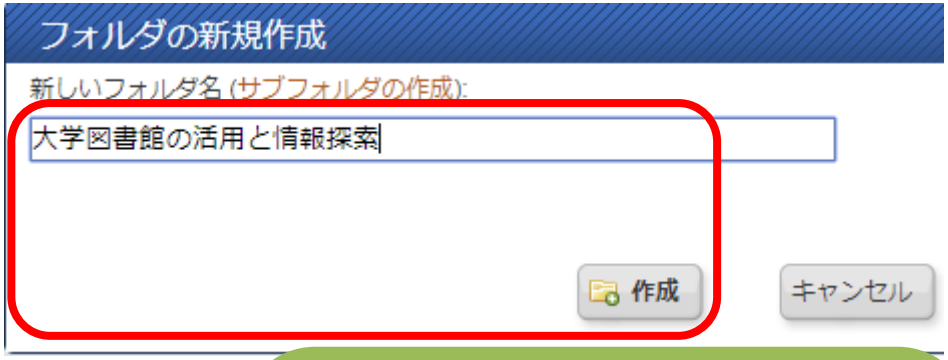
掲載頁を入力

2. フォルダの整理と
レコード編集

フォルダの整理(1)

- **フォルダの新規作成**

をクリック



- **フォルダ名の変更・削除**

[フォルダの整理および共有] タブから

フォルダ名の変更や削除ができる

※RefWorksのフォルダはフラグやタグのようなもの。1レコードを複数のフォルダに入れられる。

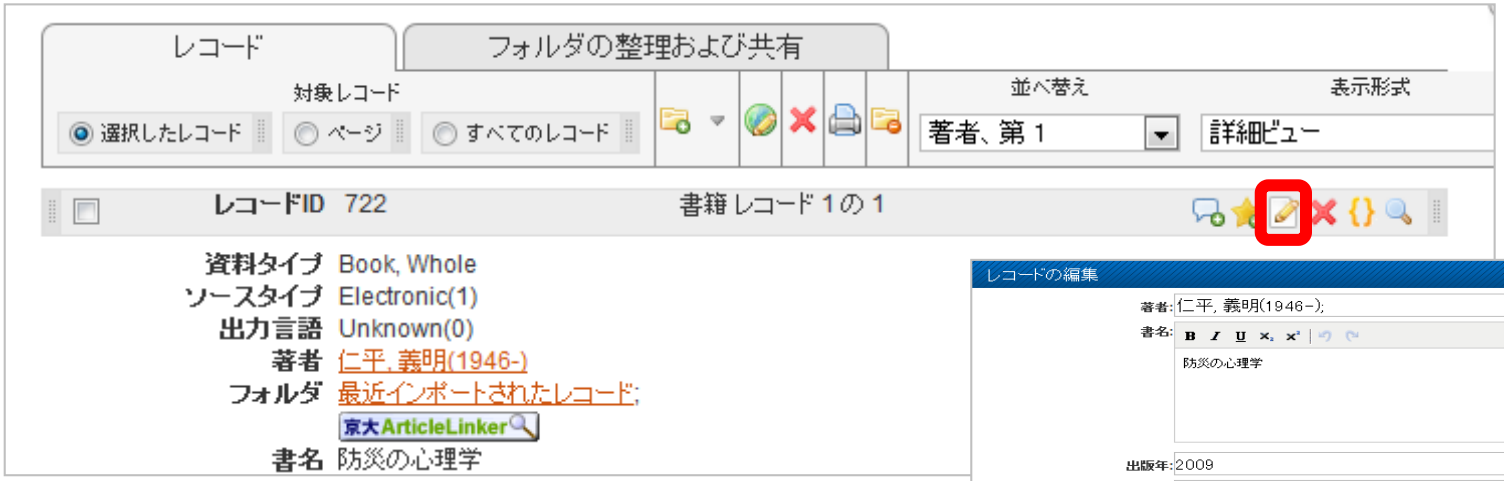
フォルダの整理(2)

●レコードをフォルダに追加する

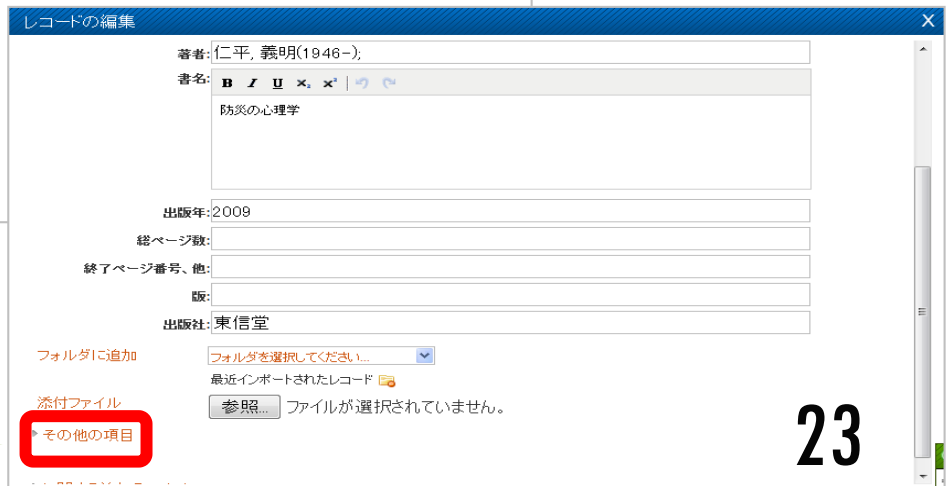
1. レコード一覧で、フォルダに追加するレコードに☑
2. をクリックし、追加先のフォルダを選択

レコードの編集

1. レコードタブの各レコードの をクリック
2. 「レコードの編集」画面で「**その他の項目**」を開けば、コメントや他の項目を設定できる



「その他の項目」をクリック



3. RefWorksから出力

参考文献リストの作成 (1)

1. レコードを選択 or 参考文献リストを作成するフォルダを表示
2. 参考文献の作成 をクリック
3. 「出力フォーマット」を選択
4. ファイル形式を選択
5. 参考文献の作成 をクリック
6. 作成した参考文献リストをコピーして貼り付ける

参考文献リストの作成 (2)

著者の名前順で並べる場合

○ 日本語文献：姓の五十音順

*同じ姓なら名の五十音順

○ 翻訳文献：原著者の姓の五十音順

*フランツ・カフカなら「カ」

○ 外国語文献：姓のアルファベット順

○ 同じ著者の文献：発行年が古い順

※今回はこの順番でリスト化する

注意

RefWorksは、**アルファベット順の並び替えしかできない**ので、

日本語文献については自分で並び替える。

Webページを参考文献にする場合

例：

科学技術・学術政策局人材政策課. “「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に係る質問と回答（FAQ）”. 文部科学省. 2015-03. http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1352820.htm, (参照 2016-06-01).

著者名. ”Webページ名”. Webサイト名. 更新日付. 入手先, （入手日付）.

注意

Webページのレコードは、**SIST02のフォーマットでは上手く出力できない**ので、適宜整形する。

4. RefShareで共有

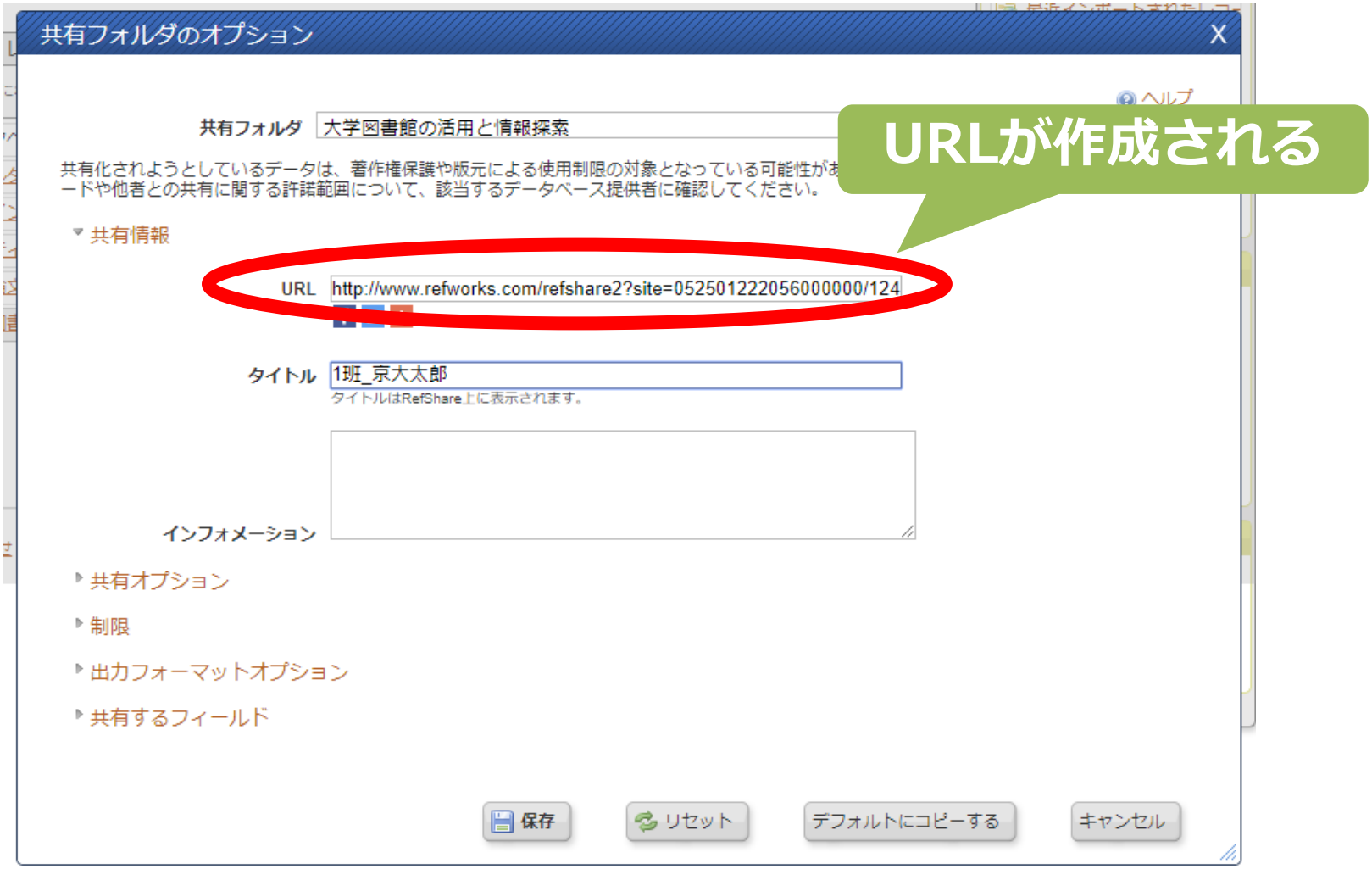
RefShareで共有する (1)

- ゼミや研究グループで使用する文献リストや自分の業績リストを公開する時に活用できる

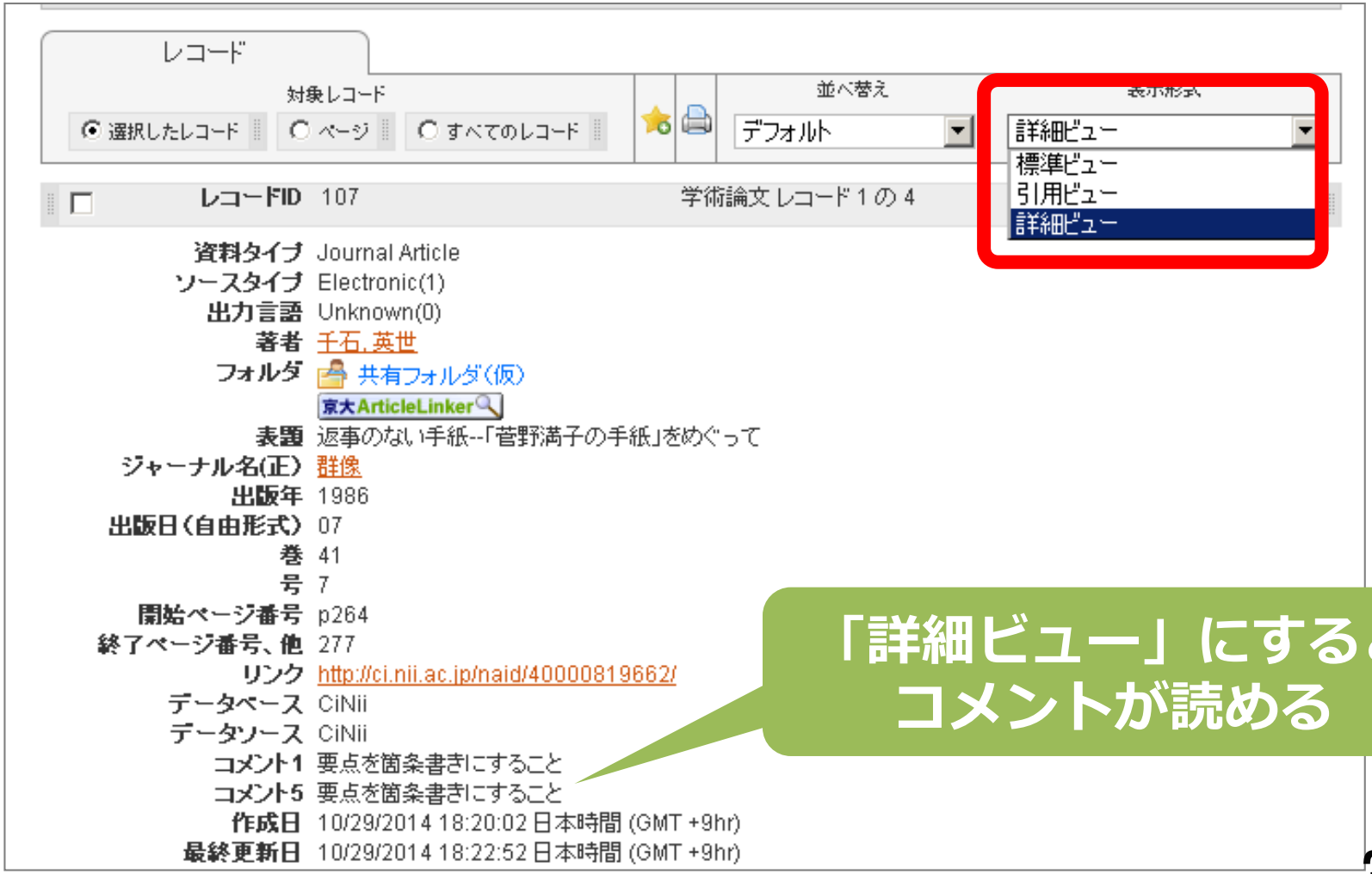
- RefWorksを契約していない人でもアクセスできるURLを作成できるので、誰でも閲覧が可能

RefShareで共有する (2)

RefShareで共有する (3)



RefShareで共有する (共有したものをみる)



「詳細ビュー」にすると
コメントが読める

５．その他

操作に困ったら…

図書館機構トップ＞
文献管理ツール

RefWorks ユーザーガイド
http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/download.html

課題について

提出期限：**6月26日（火）14:00まで**

課題５～１１

1. RefWorksにインポート、コメントを記入
2. RefShareで公開URLを作成
3. PandAに公開URLを掲載する

PandA ｜コースサイト

授業タブの中から、
「大学図書館の活用と情報探索」をクリック

「リソース」ではファイル等のアップロードが可能。課題以外でも、班内の情報共有に活用してください。

PandA ｜ リソースにアップロード 1

課題 11

PandA ｜ リソースにアップロード２

これからの予定

- 今から - 16：00　グループワーク

持ち寄った資料を元に発表準備を進める

*本日(6/19)は新聞データベースの同時アクセス25に増加

16:00 までに 発表概要を記したスライドを

1枚作って,PandAのリソースにアップロード

これからの予定

- スライドの作り方

画面左下Windowsボタン>すべてのプログラム

>MicrosoftOffice >Microsoft PowerPoint

- 16：00 - 16：15　各班1分間発表

作ったスライドを前の画面に表示して発表

次回予告

日 時：2018年6月26日（火）４限

場 所：**ラーニングコモンズ(附属図書館 1F)**

内容：最終課題・アンケートの説明
　　グループで発表準備

各班1台はノートPCを持参してください
用意できない班はご相談ください

班でまとまって着席してください

発表資料・最終レポート・アンケートについて

第12回
大学図書館の活用と情報探索
2018/6/26

先行研究の調査方法

1. 参考図書を調べて、基本の文献（教科書等）を調査

2. 基本の文献の参考文献リストを芋づる式に調査

3. KULINEのキーワード検索で調査

4. CiNiiのキーワード検索で調査

例：どのようにして冷戦が終わったのかを国際政治の観点から検討 (1)

小笠原高雪ほか編. 国際関係・安全保障用語辞典.
第2版, ミネルヴァ書房, 2017, 396p.

例：どのようにして冷戦が終わったのかを国際政治の観点から検討（2）

若泉　敬『他策ナカリシヲ信ゼムト欲ス』文藝春秋，1994年

〈第5章　米ソ二極構造の侵食と冷戦終結〉

秋野　豊『ゴルバチョフの2500日』講談社現代新書，1992年
五十嵐武士『政策革新の政治学——レーガン政権下のアメリカ政治』東京大学出版会，1992年
伊藤　剛『同盟の認識と現実——デタント期の日米中トライアングル』有信堂高文社，2002年
今井隆吉『核軍縮——軍備管理の実態』サイマル出版会，1987年
遠藤義雄『アフガン25年戦争』平凡社新書，2002年
吉川　元『ソ連ブロックの崩壊』有信堂，1992年
金　成浩『アフガン戦争の真実——米ソ冷戦下の小国の悲劇』NHKブックス，2002年
木村汎『遠い隣国——ロシアと日本』世界思想社，2002年
D・コッツ，F・ウィア（角田安正訳）『上からの革命——ソ連体制の終焉』新評論，2000年
小林正文『指導者たちでたどるドイツ現代史』丸善ブックス，2002年
斎藤瑛子『世界地図から消えた国——東ドイツへのレクイエム』新評論，1991年
笹本俊二『ベルリンの壁　崩れる——移りゆくヨーロッパ』岩波新書，1990年
佐瀬昌盛『NATO——21世紀からの世界戦略』文春新書，1999年
下斗米伸夫『ゴルバチョフの時代』岩波新書，1988年
ヘルムート・シュミット（永井清彦・萩谷　順訳）『シュミット外交回想録』上・下，岩波書店，1989年
高橋　進『歴史としてのドイツ統一——指導者たちはどう動いたか』岩波書店，1999年
ストローブ・タルボット（加藤紘一他訳）『米ソ核軍縮交渉——成功への歩み』サイマル出版会，1990年
ホルスト・テルチク（三輪晴啓・宗宮好和訳）『歴史を変えた329日——ドイツ統一の舞台裏』日本放送出版協会，1992年
鳥井　順『アフガン戦争』第三書館，1991年
仲井　斌『現代ドイツの試練』岩波書店，1994年
コリン・パウエル，ジョゼフ・パーシコ（鈴木主税訳）『マイ・アメリカン・ジャーニー』上・中・下，角川文庫，2001年
ジェームズ・A・ベーカーIII（仙名　紀訳）『シャトル外交——激動の4年』上・下，新潮文庫，1997年
三浦元博・山崎博康『東欧革命——権力の内側で何が起きたか』岩波新書，1992年
南塚信吾編『東欧革命と民衆』朝日選書，1992年
三野正洋『わかりやすいアフガニスタン戦争』光人社，1998年
宮脇昇『CSCE人権レジームの研究』国際書院，2003年
村田晃嗣『大統領の挫折——カーター政権の在韓米軍撤退政策』有斐閣，1998年

究所，1992年
————他『分裂するソ連——なぜ民族の反乱が起こったか』NHKブックス，1990年
山崎雅弘『現代紛争史』学研M文庫，2001年
渡辺光一『アフガニスタン——戦乱の現代史』岩波新書，2003年
ヴォイチェフ・ヤルゼルスキ（工藤幸雄監訳）『ポーランドを生きる——ヤルゼルスキ回想録』河出書房新社，1994年
雪山伸一『ドイツ統一』朝日新聞社，1993年
H・K・ルップ（深谷満雄・山本　淳訳）『現代ドイツ政治史——ドイツ連邦共和国の成立と発展』彩流社，2002年
ジャック・ルブニク（浦田誠親訳）『「中央ヨーロッパ」を求めて』時事通信社，1990年
ヴォルフガング・レオンハルト（村上紀子訳）『大国ロシアの漂流——ゴルバチョフとエリツィンの10年』日本放送出版協会，1996年
ロナルド・レーガン（尾崎　浩訳）『わがアメリカンドリーム——レーガン回想録』読売新聞社，1993年

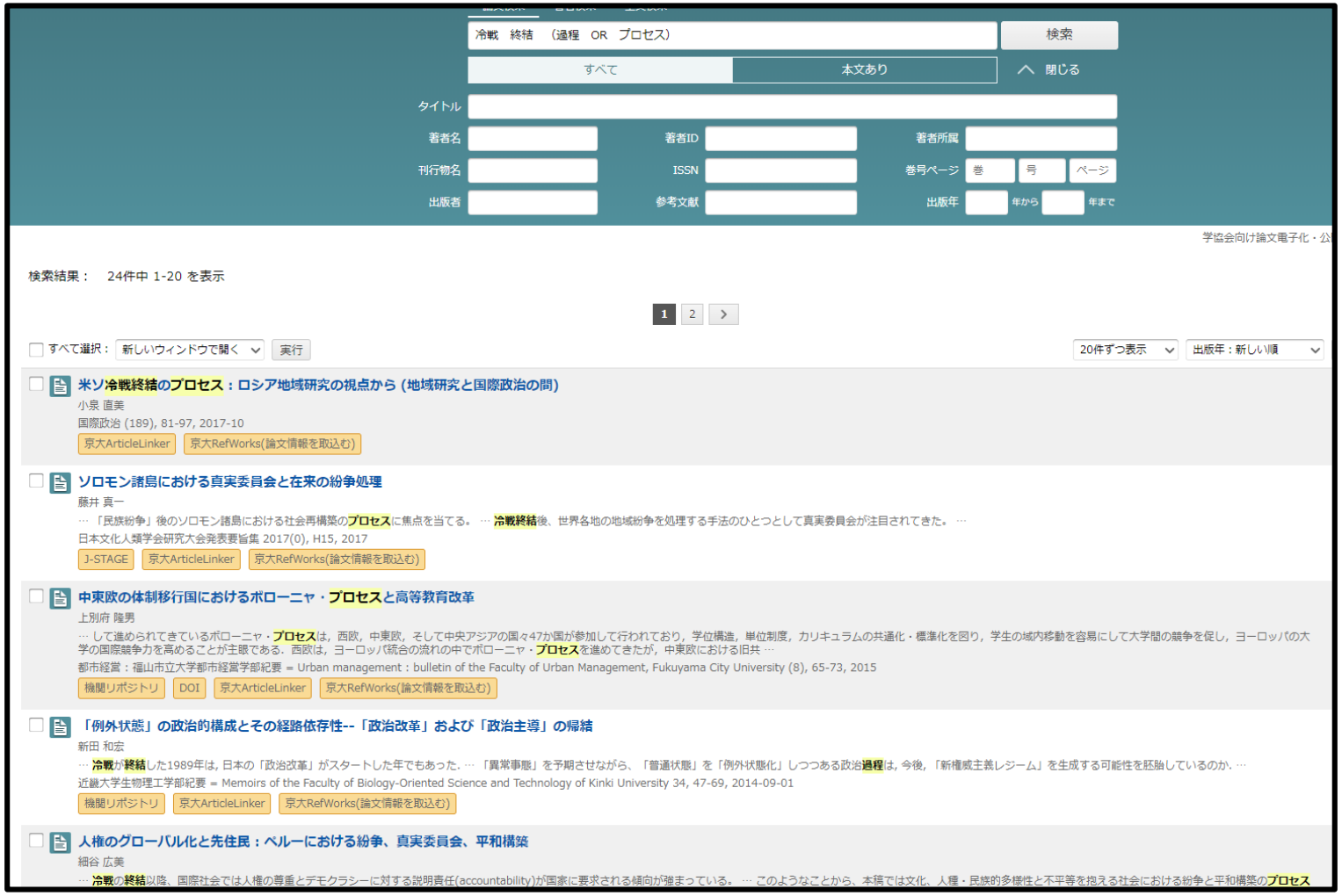
〈第6章　国内冷戦の終焉へ〉

朝日新聞社編『平和戦略1　ソ連は「脅威」か』朝日新聞社，1982年
————編『平和戦略2　総点検日米安保』朝日新聞社，1982年
————編『平和戦略3　砂あらしの中で』朝日新聞社，1982年
朝日新聞外報部『米ソ核戦略の新展開——カギにぎる宇宙兵器』朝日新聞社，1985年
アジア平和研究会編『アジアの平和を考える』新時代社，1982年
飯尾潤『民営化の政治過程——臨調型改革の成果と限界』東京大学出版会，1993年
岩波書店編集部編『日本の生き方と平和問題』岩波書店，1983年
内田健三・早野　透・曽根泰教編『大政変——細川・羽田「リレー政権」の航跡』東洋経済新報社，1994年
江藤　淳『同時代への視線』PHP研究所，1987年
NHK取材班『シーレーン——海の防衛線』日本放送出版協会，1983年
大江志乃夫『靖国神社』岩波新書，1984年
大嶽秀夫『日本の防衛と国内政治——デタントから軍拡へ』三一書房，1983年
————『自由主義的改革の時代』中央公論社，1995年
————『日本政治の対立軸——93年以降の政界再編の中で』中公新書，1999年
大平正芳回想録刊行会『大平正芳回想録』全3巻，鹿島出版会，1983年
岡崎久彦『戦略的思考とは何か』中公新書，1983年
小沢一郎『日本改造計画』講談社，1993年
北岡伸一『日米関係のリアリズム』中央公論社，1992年
————『政党政治の再生——戦後政治の形成と崩壊』中央公論社，1994年
公文俊平・香山健一・佐藤誠三郎監修『大平正芳　政治的遺産』大平正芳記念財団，

松岡完, 広瀬佳一, 竹中佳彦編.
冷戦史：その起源・展開・終焉と日本. 同文舘出版, 2003, 360p.

例：どのようにして冷戦が終わったのかを国際政治の観点から検討（3）

例：どのようにして冷戦が終わったのかを国際政治の観点から検討 (4)



https://ci.nii.ac.jp/search

発表資料について(1)

1.提出物：

発表用スライド

配布資料(スライドのプリントアウト以外の資料がある場合)

※参考文献リストを巻末に掲載すること

2.ファイル名：

○班_発表用スライド.*pptx*、○班_配布資料.*docx*など

※複数ある場合は、発表用スライド（１）のように番号をつけること

3.提出方法：

PandAのリソース内の班フォルダにアップ

発表資料について (2)

4.提出期限：

第13回（7/3）発表 のチーム

7/2（月）正午まで

第14回（7/10）発表 のチーム

7/9（月）正午まで

発表資料について (3)

提出方法

発表方法について

・各自で読み原稿を用意しておく
※PowerPointの発表者ツールは使えません

・班のメンバー全員が発表に参加できるように、
分担を決めておく

・発表時間の目安は20分程度

学習サポートデスク(1)

様々な分野の大学院生スタッフが、
図書館利用や学習に関する相談に応えるサービス

<u>場所</u>

附属図書館 1階

ラーニング・コモンズ内

<u>受付時間</u>

平日13:00-19:00

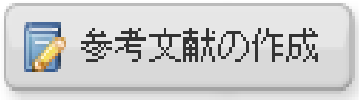
学習サポートデスク(2)

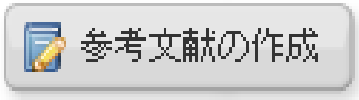
グループワークの一環として、
各班一度はサポートデスクを利用してください

たとえばこんな相談！

・テーマをもっと深めたい
・テーマに対するアプローチの方法が分からない
・プレゼンを誰かに見てほしい

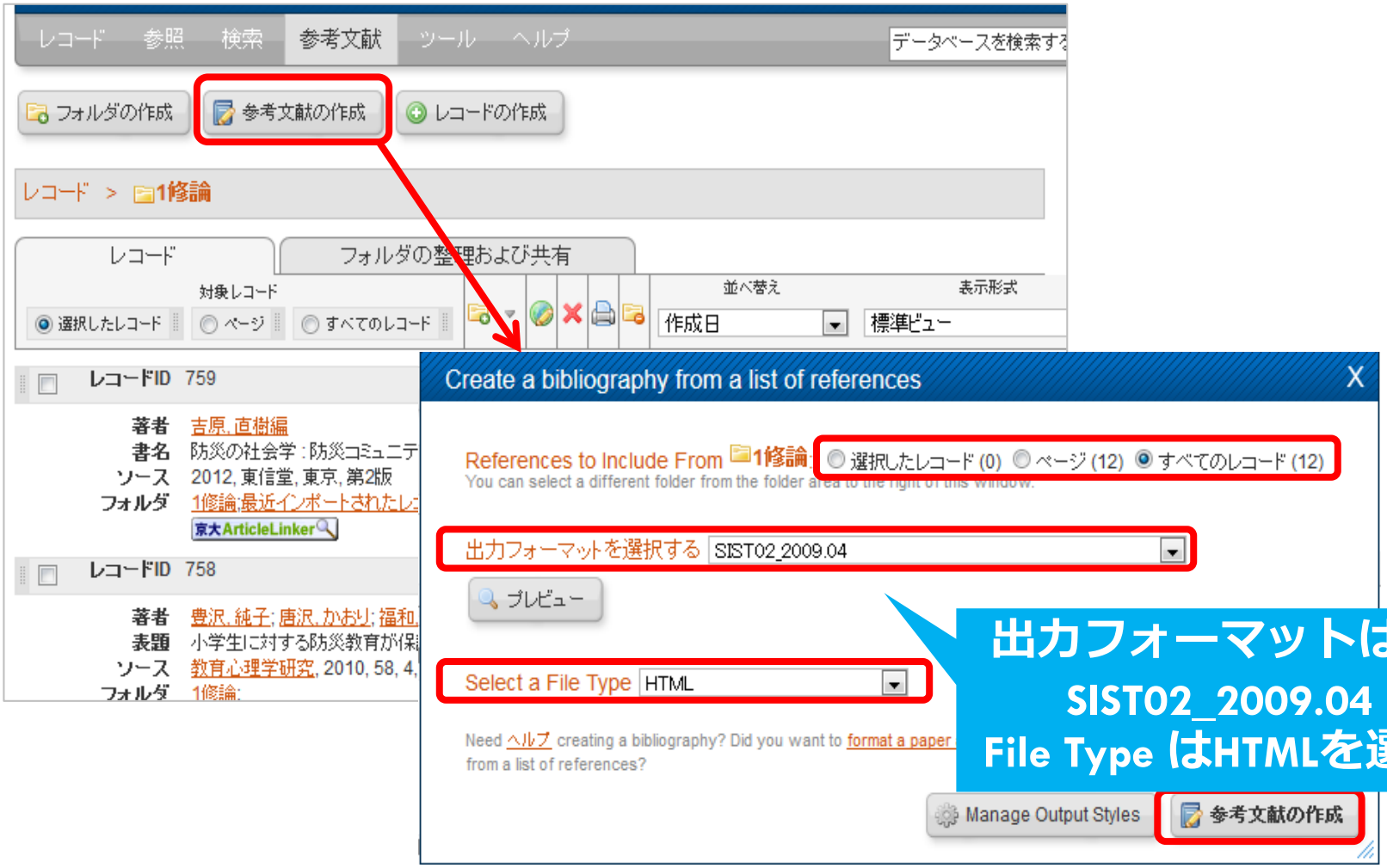
参考文献リストの作成 (1)

1. レコードを選択 or 参考文献リストを作成するフォルダを表示
2. 

をクリック
3. 「出力フォーマット」を選択
4. File Type(ファイル形式)を選択
5. 

をクリック
6. 作成した参考文献リストをコピーして貼りつける

参考文献リストの作成 (2)



最終レポート
アンケート

最終レポートについて (1)

1. レポート内容

興味のあるテーマについて、各自で*2000字以上のレポートにまとめよ。*参考文献および注は含めない

総合演習の発表で選んだテーマでも、それ以外のものでもかまわないが、先行研究レビューを中心にまとめること。

また、これまでの授業中に示された、引用の作法や論文の形式に注意して書くこと。

最終レポートについて (2)

2.ファイル名

[最終レポート]〇班_学籍番号_氏名.docx

3.提出方法

PandAの「課題」ツール(この後のスライドで説明)

4.提出期限

7/31（火）23:55

最終レポートについて（3）

5.注意点

引用と文献リストの書式をきちっとおさえる

⇒引用：文末註

参考文献リスト：SIST_02 形式

☆科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方

http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm

の「5.　資料種類別の記述例 」を参照する

☆著者名の五十音順に作成、ウェブサイトは別項にまとめる

アンケートについて

1.注意点

PandAの「課題」ツールにある【ひな形】をダウンロードして答えること。フォローアップアンケートのためメールアドレスを記入してください。

2.ファイル名

[アンケート].docx

3.提出方法

PandAの「課題」ツール

4.提出期限

7/31（火）23:55

最終レポート・アンケートの提出方法（1）

PandAの「課題」ツールを利用して提出

最終レポート・アンケートの提出方法（2）

PandAの「課題」ツールを利用して提出

課題説明

1,2とも提出期限は7/31(火)23:55です。

期限は厳守してください。

1.興味のあるテーマについて、先行研究レビューを中心に、各自で2000字以上のレポートにまとめてください

*総合演習の発表で選んだテーマでも、それ以外のテーマでもよい。
*Wordで作成し、ファイル名は「[最終レポート]○班_学籍番号_氏名.docx」とすること。
*本課題ページに提出すること。
*他の受講生からの発表評価シートや、授業中
*授業中に示された引用の作法等、論文の形式
*文字数に参考文献および注は含めない。

2.授業アンケートにお答えください

*添付の「20180731_hinagata.docx」をダウン
*ファイル名は「[アンケート].docx」とするこ
*本課題ページに提出すること。
*フォローアップアンケートを送付するので、
*本アンケートは成績とは一切関係ありません

提出
この課題では，「ファイルの添付」による提
使用してファイルを添付します．

提出
この課題は添付文書による提出だけが許可されています．

添付
添付はありません

添付するファイルを選択します．　参照...　または，ワークスペースまたはサイトからファイルを選択します．

提出　プレビュー　ドラフトを保存　キャンセル　(保存あるいは提出しない場合，提出内容は破棄されます)

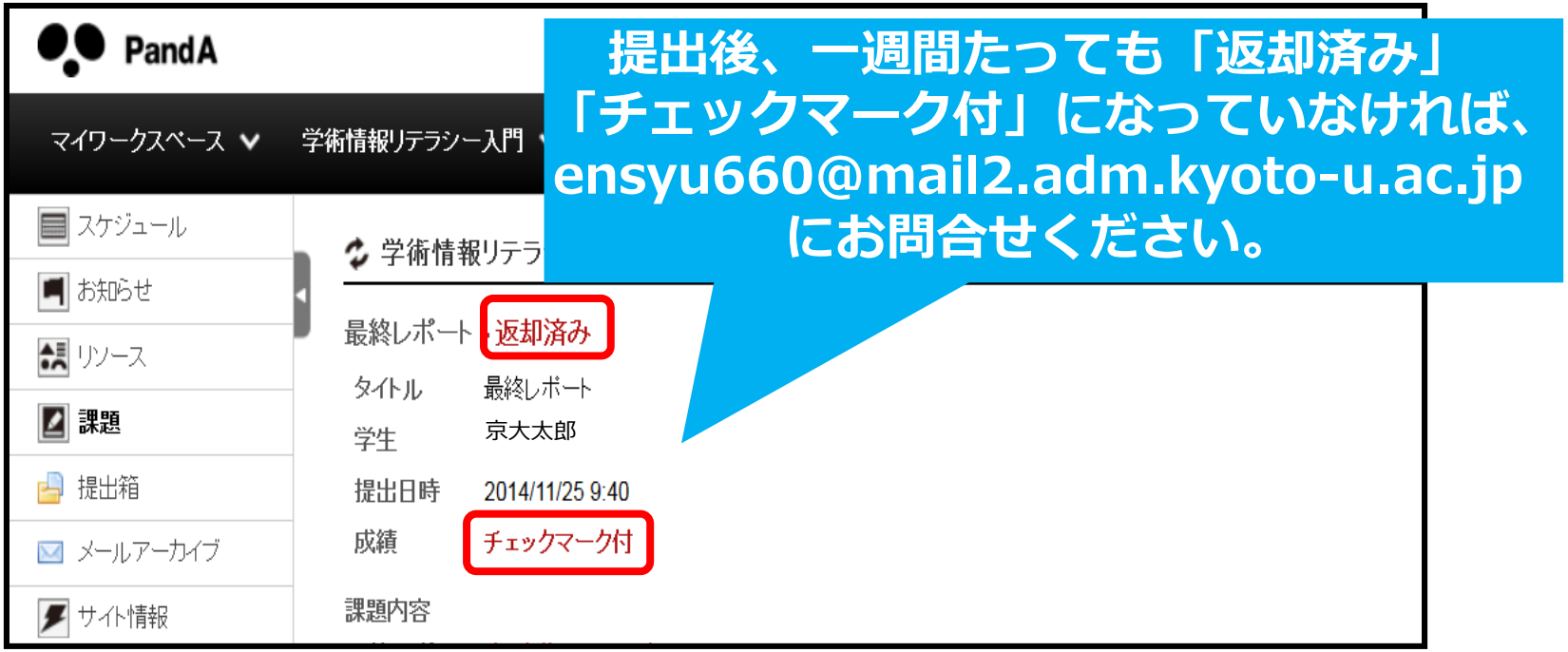
注意!!
最終レポート・アンケート両方を添付してください

参照をクリックして、ファイルを添付
ファイルは複数添付できる

提出をクリック

最終レポート・アンケートについて

課題の受取完了後、「返却済」「チェックマーク付」



グループで発表準備を進めてください。